

## 第3章

# 国際会議の取り組み

## 国際会議の取り組み

立命館宇治高等学校を拠点校とするALネットワークでは、3タイプの国際会議を行うことを計画していました。コロナ禍において、最終的にすべてオンラインとなりましたが、すべてを実現することができました。

これらの実現には、海外高校が主催する国際会議への出席等で、生徒たちが経験を蓄積したことや、参加してもらえる世界の学校とつながることができたからです。海外の学校に参加してもらうには、一定の信頼関係が必要です。そのような信頼を得るためには、まずは、参加した会議での生徒の動きが大切です。参加する生徒には、信頼を勝ち取る行動をすることで次につながることを伝えています。また、生徒たちは、どのような運営にすればうまく議論できるか、どのように発表すれば相手に伝わるか、自分たちだけでなく参加者である海外の生徒たち同士が生涯の友になるためにはどのようにすればよいかなどを考えながらの参加してきたため、経験値が確実にアップしていきました。コロナ禍前にはつながった学校を訪問するなどして、信頼関係を強固にしてきました。

これまでに参加した本校以外の主催国際会議やフォーラムは、

台湾中山大学附属國光高等学校主催 Asian Youth Fair

マレーシア SMK(P) Sri Aman 主催 SAEYLS

台湾高雄教育局主催 Asian Student Exchange Program

ISN2.0 主催 ISIF

宮崎大宮高校主催 Winter Science Program

立命館高等学校主催 Rits Global Forum

などです。さらに学校法人立命館が主催し本校が運営にかかわる World Youth Meeting や本校主催の全国高校生 SR サミット FOCUS, 模擬国連, などにかかわってきました。

すでに、オンラインのメリットデメリットについては、昨年度（令和2年度）報告書の70ページおよび155ページに記載しましたのでそちらをご参照ください。

第3章 2. 国際会議・国際ワークショップへの参加(1)

宮崎大宮高等学校主催  
ウィンターサイエンスプログラムに参加

宮崎大宮高等学校主催ウィンターサイエンスプログラムに参加しました。宮崎大宮高等学校は、立命館宇治高等学校を拠点校とする AL ネットワーク連携校であり、宮崎大宮高等学校自体も WWL 拠点校です。将来 WWL コンソーシアムが構築されていくときの、モデルとなるような相互協力関係の例といえます。また、本校にとってこの取り組みは、本校の弱い部分を補うものであり、AL ネットワークの各校の強みを生かした取り組みを共有することは、AL ネットワーク特性を活かすものといえます。

取り組み概要

えびの硫黄山研修会 令和3年11月13日(雨天時20日)(土)		ウィンターサイエンスプログラム本会 令和4年2月23日(水) (Zoomを使用してオンライン開催：学校から参加)	
時間帯(分)	活動	時間帯(分)	活動
11:00-12:00(60)	宮崎大宮高校生が Youtube にて硫黄山の水浄化施設をオンライン配信。参加生徒はこれを自宅等で視聴しコメント欄にて、質問やコメントを送信するなどして研修に参加する。	10:00-10:05	開会の挨拶
		10:05-10:10	実施上の注意や本日の流れの確認
		10:10-10:50	実験教室※4
		10:50-11:30	実験装置及び試行錯誤したことを各チームプレゼン※5
		11:30-11:35	実験の講評 宮崎大学 伊藤健一准教授
		11:35-11:45	各校生徒代表挨拶(各校1分程度)※6
		11:45-11:55	各国担当者挨拶※7
		11:55-12:00	閉会の挨拶

ウィンターサイエンスプログラム事前研修会 令和4年2月18日(金) (Zoomを使用してオンライン開催：自宅等で参加)	
時間帯(分)	活動
15:00-15:10	開会の挨拶
15:10-15:30	アイスブレイク(参加生徒間交流会)※2
15:30-16:05	各国の水浄化プロジェクトのプレゼンテーション※3
16:05-17:05	水浄化システムについての講義 宮崎大学 伊藤健一准教授
17:05-17:25	ウィンターサイエンスプログラム本会についての説明
17:25-17:30	閉会の挨拶

※2 参加生徒を4人一組に分け、交流会を行う。  
※3 日本については、宮崎大宮高校で担当する。

※4 各校の実験室等で実験を行う。(生徒管理担当の先生の配置をお願いします。)  
※5 参加チームを3チーム一組に分け、プレゼン及び実験の振り返りを行う。  
※6 各参加校の代表1名が1分程度で挨拶を行う。  
※7 日本側は宮崎大宮高校担当者が代表して1分程度で挨拶を行う。

- 参加者 参加者 拠点校 宮崎大宮高校 17名  
協力校 飯野高校 5名・小林高校 8名  
台湾 高雄市立高雄高級中學 11名  
ベトナム カオ・バ・クワット高等学校 9名  
シンガポール シンガポール国立大学附属数理高等学校 12名  
立命館宇治高校 4名
- 日程 全日程オンライン  
えびの硫黄山研修会 令和3年11月13日(土)  
ウィンターサイエンスプログラム事前研修会 令和4年2月18日(金)  
ウィンターサイエンスプログラム本会 令和4年2月23日(水)

研修の対象地となった硫黄山は、2018年4月19日に南側で噴火し、高いところでは噴煙が300mの高さまで上がりました。この噴火に伴い、硫黄山付近の長江川(川内川の支流)に硫酸やヒ素などの重金属を含んだ温泉水が流入し、白濁化しました。硫黄山から約6キロ離れた川内川の大原橋付近でも川のpHが2.1まで低下し、コイやナマズ

などの死骸が大量に見つかり、農業にも大きな影響を与えました。約 460 ヘクタールの水田（同市の水田面積の 18%）と伊佐市と湧水町の 620 ヘクタールで 2018 年の稲作を断念した経緯があります。この河川水を、農業に利用できるように、浄化施設が作られました。その様子が参加者に、11 月 13 日、ライブで共有されました。

これをもとにして、浄化前の河川水を模した、『謎の水』を各校の教員が調整し、それとともに石灰石（粒状は自由）を生徒に与え、40 分以内に、1 L の酸性の謎の溶液から、500mL 以上の pH 5~7 の無色透明な溶液を作るとというのが課題です。実験室の用具は一切使わず、以下のような条件が付けられています。

- ・実験に用いるものは、自分で用意できるものに限ります。ただし、高額なものや特殊なものは使用しないでください。また、実験を行うために新しく物品を購入することも推奨しません。
- ・リサイクルできるもの、リサイクルしたもの、自然界にあるものを活用してみましょう。
- ・ウィンターサイエンスプログラム（2 月 23 日（水）実施）当日は、実験装置の組み立ても含めて 40 分で全ての実験を行います。
- ・事前の組み立てた実験装置の使用は禁止します。4 人で協力し、十分に予備実験を行って、時間内に実験目標を達成できるように工夫しましょう。

2 月 23 日の当日には、それぞれの実験装置の工夫した点や改善点について各チームからプレゼンを行い、質疑応答を行います。

## 本番までの主催校の生徒の動き及び本校からの参加生徒の動き

参加した本校生徒は、IG コースの、高校 1 年から 3 年までの 4 名でした。事前のガイダンスの後、11 月 13 日（土）えびの硫黄山研修会（オンライン Youtube ライブ）を視聴しました。現場の入口から浄水施設を見学していく過程で、硫黄山の噴火によって河川の性質が変わり、農業などに大打撃を与えたことなどが説明され、見学している施設の意義と意味が、手際よく英語で説明されていきます。かなり綿密な絵コンテやシナリオが準備されていたことと思われます。各校からの質問は、チャット欄で受け付け、スタッフの生徒が司会進行の生徒に質問を



渡して答えていきました。このコンテンツは、今回の取組終了後には、校内の授業にも使えるものなので、成果物としてぜひ共有していただきたいと思います。

他の取り組みでも述べられていますが、現場の空気感や規模など、実際に訪れるほうが学びは深まると思いますが、それを補うほどの臨場感があり、各校で実際の実験をすることから、ハイブリッド型の典型例となる取り組みであると思います。

12 月中に本校参加生徒は 2 回集まり、実験デザインをどうするか、実際に石灰石に謎の液を通したらどうなるかなどをやってみました。その経験をもとに、冬休み中に実

験デザインを考えることにしました。1月からは、毎週1回、放課後に集まり、予備実験をくりかえしてきました。利用できるのは、リサイクル品に限られるため、思いのほか苦労します。また、生活体験の希薄さからか、その場の思い付きで装置を組んだり、どのような材料を使えば良いかのアイデアが希薄であったりしました。また、石灰石に反応した物質がコートされ、それを取り除かないで次の施行を行い、失敗の原因を特定できないこともありました。

このような試行錯誤を繰り返し、きちんとデータをとることや失敗例を記録して、そこから学ぶことを経験していきました。

本番の1週間前、2月18日に交流会及び学習会が行われました。最初はZoomのブレイクアウトルームで少人数での自己紹介やおしゃべりを楽しみました。その後、参加各国代表から、各国の水問題についてのプレゼンテーションがありました。シンガポールでは再利用水を引用にするなど先進的な取り組みがなされていることを学びました。その後、宮崎大学の伊藤健一先生からの講義を経て、Jamboardを利用して水問題解決についてのアイデアを共有しました。

#### 本番の様子

前日までの準備をもとに、制限時間内に装置を組み立てていきました。反応した溶液に現れる水酸化鉄が装置を詰まらせることと、反応を効率的に行わせるため、浄化装置を4つに分割し、反応後の液をバドミントンのシャトルが入っていた筒を樋にして集め、ろ過装置に流し込む形を作りました。

時間内にうまくいく予定でしたが、濾過後の液が、だんだんと黄色くなっていきました。各グループ別に結果を共有し、苦労した点などを共有しました。

生徒主体に課題を解決させる理系の取り組みとして、とても面白いプログラムでした。参加した生徒が実験に向き合う態度など、生徒たちに好影響を与えました。また、海外や他校の生徒と一緒にすることで、様々な刺激を受けました。

※ 当日は気温が低い午前であったため、中和後に水酸化鉄が生成される過程に時間がかかり、濾過後に黄色くなったものと推察できます。予備実験は暖房で十分に暖められた放課後に行っていたため、予備実験では見抜けなかったことでした。とても興味深いことに、気温が高いシンガポールは濾過後無色透明のまま、台湾では少し黄色くなるなど、明らかに水温の影響を受けたことがわかる結果でした。まさに Winter にするからこそ分かった実験の醍醐味といえます。



## 立命館高等学校主催 Rits Super Global Forum 2021 に参加

立命館高等学校が主催する Rits Super Global Forum 2021 に高校1年生～3年生までの7名がオンラインで参加しました。今回は前年度までの実施方法と違い“仮想国”を設定し、それぞれの生徒に役割を与え、ロールプレイングをする中で仮想国における問題を議論していきます。コロナ禍において露呈した様々な課題など、予測不可能な時代における Sustainable で Resilient な社会の構築に必要なことは何かを共に考えるフォーラムになりました。本校の参加者は、他校と英語でのディスカッションが非常に有意義な機会になったようです。

Main Theme of this year:

“Designing a Sustainable Future- Creating a Virtual Country as a Model for Possible Future Action”

### RSGF 2021 Online Time Schedule



※ 詳細については、第5章 連携機関からの報告中の立命館高等学校からの報告をご覧ください。

## Asian Student Exchange Program (ASEP)に参加しました

台湾高雄市教育局主催、Asian Student Exchange Program (ASEP)が12月26日、27日に開催されました。本年度も昨年に引き続きオンライン開催となりました。ASEPは学校法人立命館と日本福祉大学が主催し、8月に開催されるWorld Youth Meeting(WYM)と姉妹会議で、両者とも、異なる国・地域の学校1校ずつがペアの1チームになり、大会テーマに沿ったプレゼンテーションを協働で作成し、発表する取り組みです。中学生から大学生まで幅広い参加があり、台湾・日本のほか、タイ、インドネシア、フィリピン、韓国などから、56チームが参加しました。本年度のテーマは、『Action for SDGs in Post-Pandemic Era (コロナ後のSDGs達成に向けたアクション)』です。例年以上に、高校生がどのようなアクションをとれるのかが焦点となりました。

オンラインの手法は、昨年のプレゼンテーション本体は事前録画で、質疑応答をその場で行うというものでしたが、本年度はWYM同様に、プレゼンテーションもその場で接続して行う形に変更されました。録画と違い、生で行うほうが、オンラインでの限界があるものの、臨場感があり、プレゼンテーションの内容も含めて質の差がより明確になるように感じました。

### 運営システム

ASEPは、高雄市教育局が主催しているため、管理下の学校が持ち回りで開催を担当しています。大会のメインページは、高雄市教育局のオンライン学習のページ達學堂で、ここにすべての情報が集約されるようになっていました。メールやSNSでの情報は埋もれてしまうことがあるため、このようなポータルサイトが後で確認したいこともすぐに見つかるため、あると便利です。また、高雄氏の生徒たちは、その使用に慣れているため、台湾以外の生徒たちを誘導することができます。

大会に先立って、3回の講演が行われました。内容は、コロナ禍でのSDGs, ASEPでどのように海外の学校と協働でプレゼンテーションを作成するか、ASEPでの学びなどで、これらの事前講演によって同じスタートラインで参加校が準備を



目前教室沒有節目

2021年12月27日 / Dec 27, 2021

GROUP	教室 Classroom A / 高中組 Senior High Schools			
CODE	臺灣學校 School (Taiwan)	配對學校 School (Partner)	時間 Time	SLIDO
7A0	測試用 For Testing	測試用 For Testing	09:20 - 09:28	<a href="#">Q</a>
7A1	高雄市長福誠高級中學 Kaohsiung Municipal Fu Cheng Senior High School	菲律賓理工大學附屬中學 Polytechnic University of the Philippines Senior High School Department	09:30 - 09:45	<a href="#">Q</a>
7A2	國立中山大學附屬國光高級中學 Guoguang Laboratory School NSYSU	立命館宇治中高等學校(2) Ritsumeikan Uji Junior and Senior High School(2)	09:47 - 10:02	<a href="#">Q</a>
7A3	高雄私立樹德高級家事商業職業學校 Shu-Te Home Economics and Commercial High School	名古屋商業高等學校(2) Nagoya Commercial High School(2)	10:04 - 10:19	<a href="#">Q</a>
7A4	高雄私立中正高級中學(2) Kaohsiung Municipal Jhong Jheng Senior High School(2)	清遠中學校 Cheongdo High School	10:21 - 10:46	<a href="#">Q</a>
7A5	高雄私立臨祥高級中學(2) Kaohsiung Municipal Rencsiang High School(2)	大阪市立東高等學校(2) Osaka City Higashi Senior High School(2)	10:48 - 11:03	<a href="#">Q</a>
7A6	高雄私立鼓山高級中學(1) Kaohsiung Municipal Gushan Senior High School(1)	日本福祉大學附屬高等學校 Nihon Fukushi University Affiliated High School	11:05 - 11:20	<a href="#">Q</a>
7A7	立名學校財團法人高雄私立立名高級中學(1) Li Chih Valuable School(1)	關西學院千里國際高等學校(1) Senri International School of Kwansai Gakuen(1)	11:22 - 11:37	<a href="#">Q</a>
7A8	高雄私立三民高級家事商業職業學校(2) Kaohsiung Municipal Sanmin Vocational High School of Home Economics and Commerce(2)	合艾威他那華萊高中 Hatayawitayalai School	11:39 - 11:54	<a href="#">Q</a>
	高雄私立高雄女子高級中學	立命館中學校高等學校(1)		<a href="#">Q</a>

開始します。

大会全体の様子・発表は、ライブストリーミングでの視聴になりました。一方、発表者は、2分の発表間のインターバル時に Google Meet に入室することになっており、入室者を発表者と管理者だけに限定することで、トラフィックをおさえることができます。入出のためには、Google account を指定された名前（グループコード+学校名）に変更している必要がありましたが、これにより、間違っただけの入室を防ぐことができ、管理もやりやすくなります。

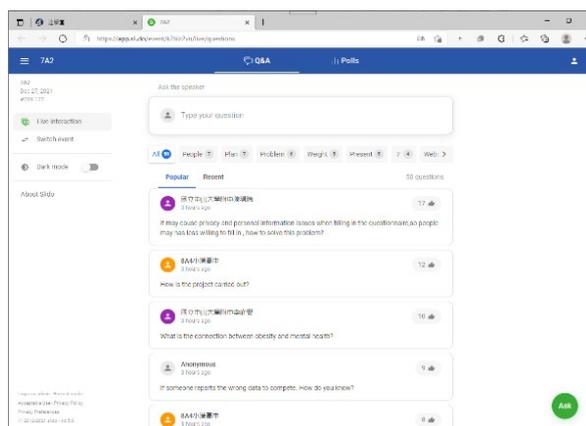
発表に対する質問は、昨年に引き続き、Slido というアプリケーションが使われました。その入り口は、プログラムにすべてリンクが張られており、各プレゼンテーション専用の Slido のページに飛びます。聴衆は発表を聞きながら、又は発表終了後の2分間で質問を入力していきます。発表が終わったチームには2分間で、Slido の質問から答えるものを選び、回答の準備をします。このやり方は、次の3点で、特に初心者にも効果的です。

- ・聴衆側は、躊躇せずに、聴きたいことを全員入力できる。
- ・発表者は質問を選び、回答の相談ができる。
- ・意地悪な質問、価値の低い質問（発表中に述べられていたことなど）などを排除でき、やり取りの質を高めることができる。

本番のプレゼンテーションは、回線のトラブルはなく、ほぼ順調に進行しました。しかし、各部屋に司会進行役がいなかったために、始まりや終わりが唐突な印象を受けました。また、参加者の理解の問題ですが、指定された2分のインターバル前の、ほかのチームがプレゼンテーションしている間に入室しようとして、画面に通知と通知音が鳴って邪魔をするという例が多くありました。これも、他のプレゼンをしっかりと視聴していれば、それ以降は、インターバルに入る必要性を理解できるはずですが、複数の PC でつなぐときのハウリングなど、技術面での理解が進んでいないことを想定して、徹底する必要を感じました。

## 生徒の動き

昨年度に続き、三信高級家事商業職業学校および中山大学附属國光高級中学と2チームを結成しました。それぞれのチームは、SNS や Google Meet などを使い、どのようなトピックにするか話し合いを続けていきます。ASEP は台湾側が主導のため、台湾の学校がかなり先行して構成を考えていることから、こちら側の意見が通りにくく苦勞をしました。さらに、両校のスケジュールがうまく合わず、話し合いが停滞することもあり



ました。それでも、トピックに従ってのアンケート調査、アクションのビデオを作成するなどの工夫が行われ、プレゼンテーションが形になっていきました。

発表当日の開会式前の朝にも練習をし、本番に備えます。本番では、オンラインであっても、原稿と内容を覚え、画面越しでもアイコンタクトを意識し、伝わるように話しました。質問に対しても、両チームとも、余裕をもって答えることができました。また、他チームの発表も配信で視聴するとともに、可能な限り Slido に質問を入れていきました。



學生針對本年度主題與日本姐妹校進行「線上英語專題討論與發表」，於指定比賽時間進入「Google Meet」進行發表，透過同步直播提供其他團隊觀影，並於發表完成後2分鐘內藉由「SLIDO 問卷平台」輸入提問及線上直播回應；不但提升英語表達及邏輯思維能力，更培養學生自主吸收國際資訊，讓國際活動進入學生的生活世界，同時發展國際姊妹校交流活動。



オフラインで開催されているときのような、おもてなし感や派手さが影を潜め、最後のリフレクションビデオも今年はなく、まさにコンテストといった様相でした。賞は、昨年同様に Honorable Mention, Gold, Platinum の3種類でした。立命館宇治高等学校は、中山大学附属國光高級中学とのチームが Gold Prize を受賞しました。

## World Youth Meeting (WYM) の開催および WYM の一般社団法人化について

日本福祉大学・学校法人立命館主催，文部科学省後援 World Youth Meeting が，8月5日，6日の2日間の日程で，オンライン開催しました。3月から，実行委員会が開催され，開催の形態やテーマなどが決定されました。本年度の大会テーマは“Regeneration and Sustainability”-How can you be responsible for attaining Sustainable Development Goals- です。参加国は日本，ベトナム，中国，インド，台湾，カンボジア，マレーシア，フィリピン，タイ，韓国，ネパール，インドネシア，ミャンマーなどであり，日本と海外グループ合計45グループとなりました。メインの取り組みは，大会テーマに沿って，国内外2校がペアになって，テーマに沿ったプレゼンテーションを協働で作ることです。課題解決に向けた取り組みを提案し，実践にまで持ち込んでいくことを目標としています。従来から，事前の取り組みにおいて，TV会議システムを使用するなど，ネットワーク利用に強い取り組みでしたが，コロナ禍においてもそれが活かされ，TEAMSなどのWeb会議システムでの国際交流の方法を参加校で共有し，事前の準備を活性化させました。文部科学省が提唱する遠隔教育，パンデミック時の取り組みとしてのWeb会議システムの指針を活かし，発表当日に向けて，国際連携を強めながら国内外双方でタスクベースな活動を展開したといえます。

WYM本番の内容は，作り上げた発表を共有するだけでなく，ディスカッションセッションや分化紹介(ShowCase)，カフェトーク(自由なおしゃべりの時間)なども企画されており，オンラインであっても参加者にとって印象深いものにすべく工夫しています。

### より責任ある発言を含むプレゼンテーションへ

WYM海外の学校とのペアで大会テーマに沿って，協働でプレゼンテーションを作成して発表するものですが，近年は，自分たちの活動に基づくか，この発表を機会に生徒たちが実際の活動につながるプレゼンテーションが増えてきました。これまでも，過去のプレゼンテーション作成の作品に学び，より良いものを作るという流れがありましたが，今年度からは，単なる”調べ学習の発表“に終わらない，自分の周囲とSDGsとの関連を問い直し，実際の活動につながるような意見を述べることを奨励しました。そのため，Presentation with Responsibilityを評価基準に入れていきます。

賞の構成は，最優秀作の文部科学大臣賞を筆頭に，各部屋でのベストプレゼンテーション各1，2点に審査員長賞，全体の約3割の秀作にプラチナ賞が与えられました。

## Criteria to evaluate presentation performance

Points	English Expression no requirement such as native speaker of English	Performance	Content	Q&A
5	Audience conscious. adequate analysis of the audience such as English levels or readiness. Good prosody. It is clear which part is stressed. English level is appropriate for Asian students.	Keeping good speed in delivery. Easy for the audience to follow. Good interaction with audience. Pauses are appropriate. Presenter's opinion is very clear.	Clear story. One core message and 3-4 topics. Successful in motivating the audience. Their own research data and opinions are used.	Questions are answered appropriately.
4	Good enough to deliver to Asian students. Good interaction and questioning with the audience.	It is clear which part has been emphasized.	Good research and organization. Too much contents. Few opinions.	Good enough - without going into details.
3	Speaking in a loud voice.	Good collaboration to deliver.	Mere results of google research	Answers mostly covered the question.
2	Not so good at handling the microphone or speaking in English overall.	Delivered in a monotone.	Just talking about the issue - lacking flow or structure of argument.	What is said is not an answer.
1	Incomprehensible.	"Mosquito reading"- hard for the audience to hear what is being said.	Boring, Infringing copy rights, Complicated with too many photos.	Can't answer anything.

### 事前のセミナーを充実

学校閉鎖が行われている難しい状況の中、生徒たちだけでも事前の話し合いができるように、大会本番一カ月前から4日間6つのセミナーを開催しました。

6/25: How to choose a better topic for presentation, Evaluation criteria  
大会のテーマとプレゼンテーションのトピックの選び方についての解説

7/2: Academic manner for online presentation and Q & A  
プレゼンテーションの構成方法と評価のポイントについて

7/9: Q & A for discussion

聴衆として良い質問、発表者としての良い回答について

7/16: Explore Discussion

ディスカッションセッションの目的とその方法

<http://www.japanet.gr.jp/w2021/2021seminar.html>

このように、大会をいかに質の高いものにするかの事前レクチャーに力を入れました。その結果、本番において、オンラインではありましたが、レベルの高い発表と Q&A が実践されました。

## 本番のプレゼンテーション

3つの部屋を同時進行で進められました。Aの部屋は大学生、B・Cを高校生とし、各部屋15のプレゼンテーションが行われました。

生徒のMCのもと、進行は大変スムーズでした。トラブルで時間になって開始できないプレゼンテーションについてはRoomDに移動して行われましたが、録画されているデータをもとに審査を行いました。

自分たちのアクションを意識するプレゼンテーションが増え、聴衆を意識しての伝えるプレゼンテーションが増え、上位チームのレベルは大変高いものになったと思われまます。

海外の学校と一緒に何かを行う経験が初めての生徒も多く、イニシエーション型の大会を意識していますが、事前のガイダンスなどの効果があり、相手とのコンフリクションを乗り越えてプレゼンテーションを作成する経験は、極めて生徒たちに成長の場を与えたと思われまます。

## ディスカッションセッション

国際会議の醍醐味であるディスカッションは、ハードルが高い取り組みです。WYMでは、そのようなディスカッションを、経験の浅い生徒でも経験させるために、各担当校が議論したい内容についての提案ビデオを作成し、それを事前に視聴したうえで、その提案について意見を交換するという形式です。事前に提案を理解して、自分の意見をまとめたうえで議論に参加できるように、発言の機会を活かしやすい特徴があります。本年度は9

### Presentation Event

**Notice**

- We will use "Teams" as the main video conferencing software app throughout this presentation event.
- Each team must enter your assigned room 10 minutes before assigned time. (Your assigned time might be moved forward)
- Please do not turn on your camera and microphone until the name of your team is called.
- Please make sure that the next presenters change your team name like the example:  
Ex) A 2 Nihon Fukushi University (Team B), adding Room No to your team name when you enter the room.  
Otherwise, we will mute all microphones.
- **Shortly after the previous team finished the presentation, the next group must start to share your slide on the screen. Then, MC will ask you—**

MC : "MC: thank you for your nice presentation. Next presenters are Uni. and H.S."  
"Would you please start sharing your screen?"  
< Waiting for the assigned team finishing sharing the screen for less than 1 minute.>

MC : "Are you ready?" => Team : "Yes, we are ready."  
MC : "Let's welcome them with a big hand! ▶ Start the timer"

< In 6 minutes.>  
MC : <A bell rings once.>  
< In 3 minutes.>  
MC : <A bell rings twice.> Thank you for your nice presentation. ....

If you are not ready yet, please say "Wait a second" instead of saying "We are ready." But note that Mc will not wait for your preparation more **than 1 minute**. If your team should have some trouble and be unable to appear at the time of presentation, we will ask your team to move to "Room D" for the backup.  
\*The information for the Room D should be announced soon.

	Presentation Event (Room A) MC: Nihon Fukushi University	Presentation Event (Room B) MC: Fukui Commercial High School	Presentation Event (Room C) MC: Ritsumeikan Junior and Senior High School
13:00	Nihon Fukushi University (Team A) & Wenzhou University	Osaka city Higashi Senior High School & Kaohsiung Municipal Rueilang High School (Team A)	Osaka city Higashi Senior High School & Kaohsiung Municipal Cianjhen Senior High School (Team C)
13:10	Nihon Fukushi University (Team B) & Silay Institute Collee	Osaka city Higashi Senior High School & Kaohsiung Municipal Praisione High School (Team B)	Osaka city Higashi Senior High School & Kaohsiung Municipal Cianjhen Senior High School

12:30 **Discussion Session**

**Breakout Room A.B.C...I Teams**  
MCs: Ritsumeikan Junior & Senior High School

Room A Rits J & S ... #3 Good Health And Well being <https://youtu.be/Wi0b16cMG3w>  
Room B Rits J & S ... #4 Quality Education <https://youtu.be/moW16CwSxvk>  
Room C Rits J & S ... #7 Affordable And Clean Energy <https://youtu.be/8Jf1abxR5bA>  
Room D Rits Uji ... #2 Zero Hunger <https://youtu.be/okQLPSBQVJM>  
Room E Fukui Com ... #2 Zero Hunger <https://youtu.be/77FEC5Xm0>  
Room F Nara Ikuei ... #4 Quality Education [https://youtu.be/O\\_1ZwEim4](https://youtu.be/O_1ZwEim4)  
Room G Osaka City Higashi ... #5 Gender Equality [https://youtu.be/47r\\_oEanTmY](https://youtu.be/47r_oEanTmY)  
Room H Nanzan Int'l ... #6 Clean Water and Sanitation [https://youtu.be/qcAkAeqkS\\_A](https://youtu.be/qcAkAeqkS_A)  
Room I Rits Moriyan #12 Responsible Consumption And Production <https://youtu.be/9z33rp3kdn8>

\* Please scan the QR cord below and select the best three out of 9 videos you think of and vote!!!!!!  
\* The term when you can vote is between Aug 3<sup>rd</sup> and Aug 5<sup>th</sup>, but we will close the voting site at 6 pm JST on Aug 5<sup>th</sup>, about two hours after the Day 1 is over.  
\* Your comments are highly welcomed on why you think it is the best choice on your own; any other "LIKE" comments to the videos or those who made them are also appreciated. We make the comment box in the voting site.



† To show video (3 – 5 minutes) again, and to start discussion  
† Affirmative or Negative ideas and opinions will be expected to come up  
† MCs will wrap up the ideas and opinions of each room

13:00

つのルームが準備され、それぞれの提案動画が事前に示されました。

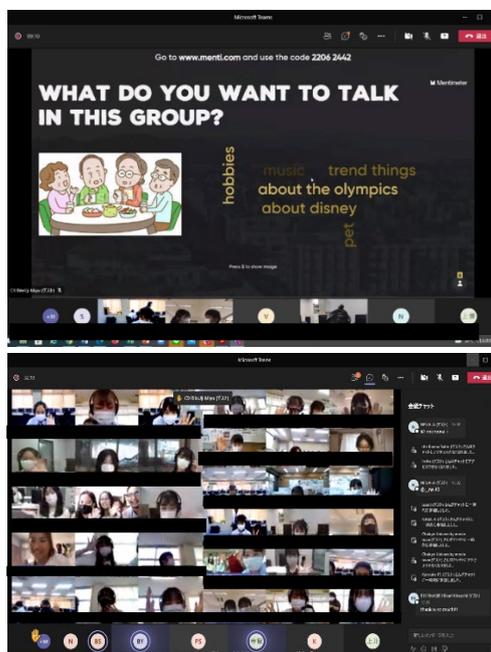
事前の提案は、SDGs の何番に対応するものかを提示し、自分が参加したいルームに入るようにしました。また、これらのビデオも評価対象とし、最も優れたビデオに賞が贈られました。

## カフェトークセッション・Show Case

国際会議での楽しみの一つは、食事時や休憩時間中に、海外の友人を作ることです。オンライン下では、これらがなかなかありません。そのため、自由におしゃべりを楽しむセッションを昨年度より開設しています。昨年度これがとても好評でした。今年は教員向け、大学生向け、高校生向け 2 部屋を作りました。また、それぞれのルームの担当校を決めて、ファシリテーター的な役割を担ってもらうようにしました。ファシリテーター役を演じた生徒たちは、高校生用の部屋においても大人が入る余地はないほどに、工夫が見られました。例えば、メンチメーターなどのツールを利用して、参加者がどんな話題に興味があるかなどの情報交換、チャット欄を使っての意見の吸い上げなど、昨年には見られなかった短時間を効果的に使おうとする取り組みが行われました。明らかに、生徒たちの ICT 活用スキルがアップしており、これらのツールを使いこなしていくことが、コロナ禍におけるオンライン交流の標準になりつつあることを実感しました。

設定時間は 30 分であったため、あっという間に過ぎ去ってしまい、これから話が盛り上がっていくところだったのにと、少々後ろ髪を引かれるような感じでした。しかし、生徒達がプロジェクトで使用しているインスタグラムのアカウントを交換するなど、将来にわたってつながっていく準備ができたようです。これらの交換を提案した生徒は、WWL における別の取り組み（全国高校生 SR サミット）で、アピールタイムを経験した生徒でした。自分たちの活動を積極的に発信することで、社会にもアピールしようとする高校生が複数あったことより、WYM などの活動を通し世界に目を向ける生徒たちが成長し、カフェトークによってつながる機会を与えることができたことは高く評価できます。

ショウケースでは、9 つの文化発表があり、参加者はそれぞれの国・地域の文化を楽しみ



WYM Showcase			
MC Ritsumeikan Junior & Senior High School			
Main Room: Teams + YouTube Live (@Nihon_Fukushi_ Univ_ Online_Room)			
Room Entry ▶ <a href="http://fwd.jp/wym/rooms/">http://fwd.jp/wym/rooms/</a>			
1	Nihara Makana	Japan	singing
2	LU EN Liang / Fengshin senior high school	Taiwan	Singing
3	Nozaka Natsuki Ritsumeikan Senior and Juniro Highschool	Japan	Paper Cutout
4	Berkley Kiri Gracia Syamdana, SMAN 3 Yogyakarta	INDONESIA	Traditional dance
5	Mai Sakaoka, Sayuna Tamura, Asuka Maaji	Japan	Ballet
6	Yu Xiang Zheng, Kuohsiung Municipal Lajhu Senior High School	Taiwan	singing
7	Pongsavada Khmer and Provincial Teacher Training College	Cambodia	Traditional dancing
8	Angela Yesenia Saucedo Lopez / SHOU UNIVERSITY	HONDURAS	Painting VIDEO
9	Karin Kurata (Ritsumeikan University)	Japan	singing
	Yoshida, Shinsuke / Kansai University	Japan	Asian traditional instruments ~the world of diversity~

ました。このような楽しみは、交流を深めるうえで必要なものと考えます。

## 立命館宇治の生徒のプレゼンテーション

立命館宇治高等学校は台湾の三信高級家事商業職業学校（三信）および中山大学附属國光高級中学（國光）との2チームを編成しました。

三信チームは、SDGs 達成のために大人になって必要な教育や取り組みとは何



かをアンケート調査も交えてまとめ、足りないものをいかに作り上げていくのかを高校生の観点でまとめました。 [宇治三信 outstanding - YouTube](#)

國光チームはグリーンホテルの取り組みを例にあげて、アンケート調査の結果をもとに、日頃の意識改革、環境問題に取り組む企業を応援することの重要性を主張しました、



両チームともに各部屋の秀作、審査員長賞を受賞することができました。

## WYMの一般社団法人化について

取り組みの永続化の一つの方法として、NPOや一般社団法人の設立が選択肢となりえます。学校現場においては、異動・退職等で運営のカギになっていた人物がかかわれなくなることがあります。また、運営費をどのように予算化するかについてもハードルが高いです。これらを解決するメリットが法人化にあると考えます。法人化することで、寄付を受けやすくなり、参加者からの参加コストを集め、清算するなどの負担が、学校現場から切り離すことができます。安定した運営のためにはノウハウがありますが、目的のための予算化や機動力が格段にあがることを法人化によって期待しています。

WYMの法人化には、WYMの創始者である日本福祉大学影戸誠名誉教授が理事長に就任し、設立資金を連携企業（内田洋行株式会社等）から得て、設立することができました。

## 第4回全国高校生SRサミット FOCUS を開催

日本国内もしくは海外の同世代高校生を集め、各生徒および学校が産み出したプロジェクトをブラッシュアップする機会として、第4回全国高校生SRサミット FOCUS を開催しました。昨年度は経団連の提言にもこのイベントが言及されるほどに成長していますが、本年度も以下のような挑戦を新たにを行いました。

### <今年度の新しい挑戦>

- ① 本番での議論がスムーズかつ効果的になるように、各校のプロジェクトリーダーのみの参加のリーダー合宿を全国3会場で行う。各会場において、連携企業および連携校に運営を協力いただく。
- ② 小学生・中学生も参加者に加える。小中学生の場合は学校推薦やオンライン面談など行い慎重に参加者を選抜する。
- ③ リーダー合宿後～FOCUS 当日までを FOCUS WEEK とし、オンラインで著名な方々からの講演会を開催する。
- ④ WWL 後も発展を自走できる仕組みを作る。
- ⑤ 新たなオンライン媒体への挑戦 Zoom, Google drive+Slack, Miro, oVice など

### FOCUSの成長

2022年	持続可能な発展を自走できる組織
2021年	他校・他地域にも拠点を拡げ各地域で爆発を自走 50校 111プロジェクト 460名 小学生～高校生
2020年	オンラインで新たな可能性を 65校 84プロジェクト 370名
2019年	高校生と国際学生や大人を混ぜる 18校 19プロジェクト 100名
2018年	PBL 他校交流の面白さを 11校 12プロジェクト 55名

### 目的

- WWLの集大成として、連携団体・学校との相乗効果を生み続ける仕組みの創出
  - 多世代、他地域の多様性を感じ、インクルーシブを実現する
- 具体的策：
- ・生徒たちが学外に出て、大人と議論を通して自分の考えを語る経験をする
  - ・卒業しても終わらせない繋がりをプラットフォーム化。(オンライン化も含め)
  - ・そこに行けばいつでも成長できる場を提供を目指す
  - ・各地連携校での自走できる組織作りや情報共有



実施内容は、今まで通り、ある学校のプロジェクトを他校の生徒や社会人メンターと共に揉みなおし、新しい展開を考えるというものです。

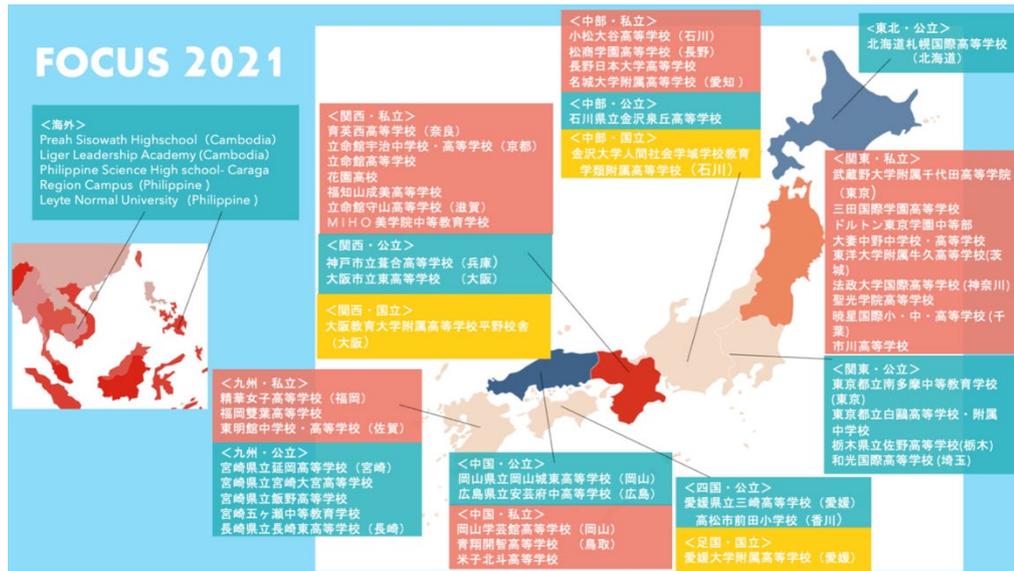
### <本年度の開催規模>

- 【参加生徒】国内外 50校 111プロジェクト 460名
- 【メンター】次世代の若者を応援したい国内外の大人 65名 39企業・団体
- 【オブザーバー】9名 9企業・団体



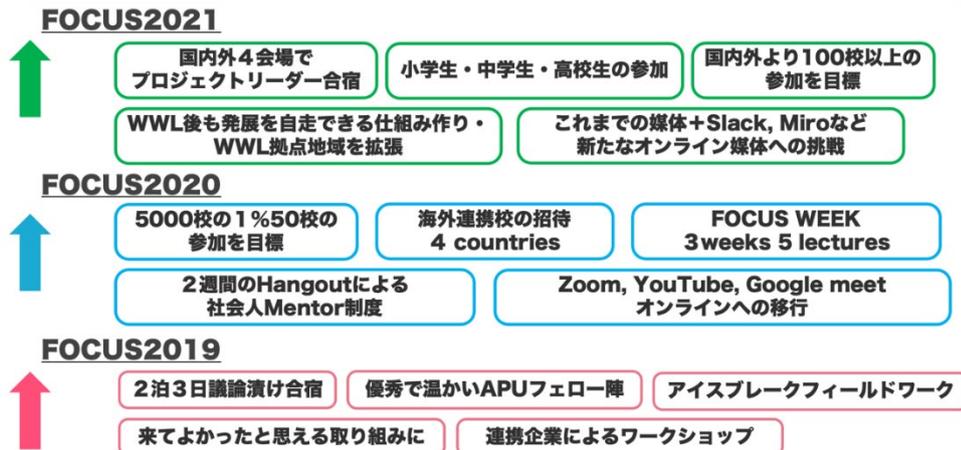
### 全国高校生SRサミットの成長・発展





＜発展とプロジェクトリーダー合宿＞

**FOCUSの成長・発展**



過去の経験を活かしリーダーの存在に本年度はスポットを当てました。

**プロジェクトリーダー合宿からのステップ**



日程及び場所

7月10日(土) 11日(日)

リーダー合宿 感染者再拡大のため対面予定をオンラインに変更

\* 予定会場 (計画→オンラインに変更)

【東京】立命館東京キャンパス 【京都】立命館宇治高校

【大分】立命館アジア太平洋大学

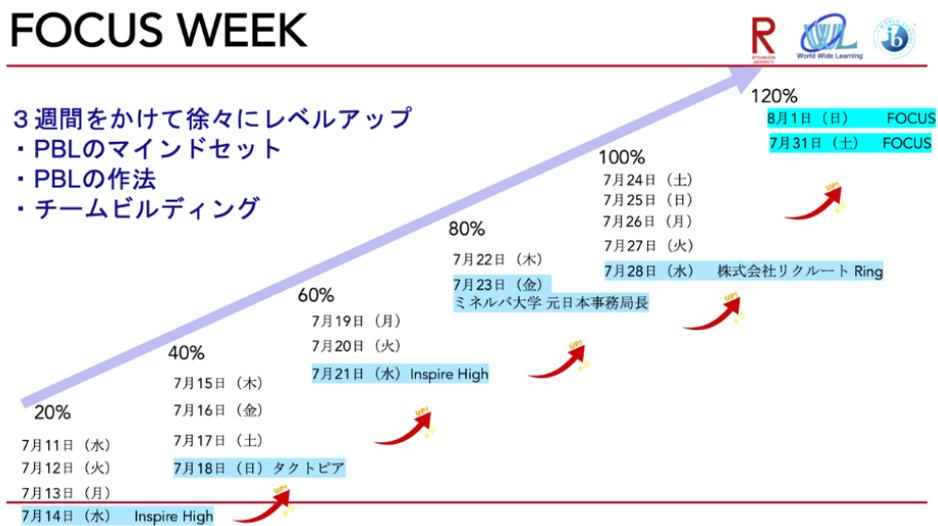
\* 宿泊 (計画→オンラインに変更)

【東京】オリンピックセンター 【京都】立命館宇治高校 生徒寮

【大分】立命館アジア太平洋大学 学生寮

7月12日(月)～30日(金) FOCUS WEEK (オンラインレクチャー約5回)

## FOCUS WEEK

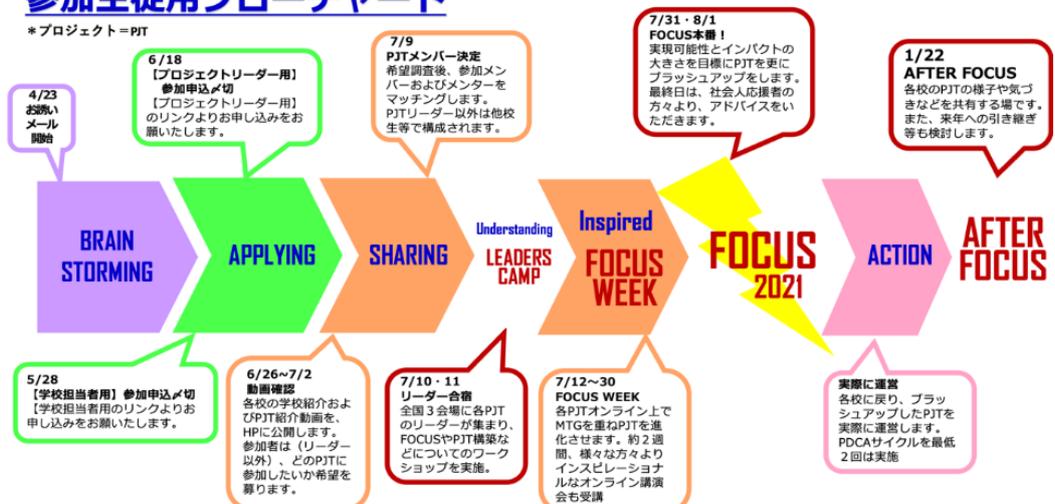


7月31日(土), 8月1日(日) FOCUS 本番 オンライン

1月22日(土) AFTER FOCUS オンライン

## 参加生徒用フローチャート

\*プロジェクト=PJT



リーダー合宿は、連携校・連携団体で分担した運営体制を以下のように組みました。

九州会場：福岡雙葉高等学校・ファシリテーター：中村様（タイガーマーブ株式会社）  
 関西会場：立命館宇治高等学校・ファシリテーター：長井様（タクトピア株式会社）  
 関東会場：市川高等学校・ファシリテーター：木村様（一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト（GiFT））

海外会場：立命館宇治高等学校・ファシリテーター：芦田様（アイ・シー・ネット株式会社）

メンター管理：空田様（Learning in Context）

## FOCUS全体 組織図



FOCUS WEEK 登壇者：

- 7月14日（水）杉浦様（株式会社 Inspire High）
- 7月18日（日）長井様（タクトピア株式会社）
- 7月21日（水）杉浦様（株式会社 Inspire High）
- 7月23日（金）山本様（ミネルバ大学 元日本事務局長）
- 7月28日（水）渋谷様（株式会社リクルート Ring 事務局長）

FOCUS ファシリテーター：谷弘様（very50）

媒体：Google site, Google meet, Zoom, Google hangout, Youtube live stream, mentimeter, oVice 等



参加費用：5,000円/プロジェクト

リーダー合宿への交通費・食費・宿泊費などは実費

H P : <https://sites.google.com/view/focus2021gobeyond/home>

募集動画：[https://youtu.be/\\_nz0GeHjEko](https://youtu.be/_nz0GeHjEko)



次年度以降の自立運営のためのテストケースとして、参加費を徴収し運営する方法を一部に取り入れました。このような方式でも十分に参加者が集まることがわかりました。

## 参加チームのプロジェクト一覧

### 【Japanese】 Zoom 1

Meeting ID : 508 526 0892  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	Wakka
MIHO美学院中等教育学校	貧困による飢餓を減らそう
愛媛大学附属高等学校 Aチーム	留学生と共に地域活性化を
東明館中学校・高等学校	主体性の温暖化問題
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高	新失業者対策～全ての人に仕事と生きがい
小松大谷高校	を～
大妻中野高等学校	YOUNGEYE
東京都立南多摩高等学校	環境のために小さくても確実なアクションを！
栃木県立佐野高等学校	小学生の学習支援×高校生
福岡雙葉高等学校	足利市における商店街の活性化によるまちづくりの研究
米子北斗高校	児童虐待の啓発と状況改善
立命館宇治中学校	Project ソクラテス
	海洋プラスチック問題 QUEST with Maipia

### 【Japanese】 Zoom 2

Meeting ID : 912 835 7201  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	フードロス
MIHO美学院中等教育学校	農業を通して安定した子ども食堂の実現
愛媛大学附属高等学校 Bチーム	観光産業による新型コロナウイルスからの復興
宮崎県立延岡高等学校	カラー～幸せの権利を全ての人に～
金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校	肌の色なんて関係ない！！すべての人が尊重される社会を目指して
青英西高等学校	吉野本葛を世界に広めたい！
大妻中野高等学校	子ども食堂みんなで応援プロジェクト
東京都立南多摩中等教育学校	えこねんどロー
栃木県立佐野高等学校	幼児教育の改善による男女差別の撤廃
福知山成美高等学校	パートナーシップで心の国境を無くそう～今を生きて私たちが未来のために～
法政大学国際高等学校	「食ロス」問題に取り組み
立命館宇治中学校	～資料不均衡の世界地図をつくる～
	LGBTQ問題 Rainbow Supporter

### 【Japanese】 Zoom 3

Meeting ID : 979 358 4032  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	ホームレス
MIHO美学院中等教育学校	アスミルプロジェクト
愛媛大学附属高等学校 Cチーム	コロナ禍での国際交流～時代と共に変わるグローバルの形～
宮崎県立延岡高等学校	地域まるごと学び場
広島県立安芸府中高等学校	安芸府中高校グローバル人材育成プロジェクト
松商学園高等学校	本当の自分であるために～学校生活から考えるジェンダー問題～
大妻中野中学校・高等学校	私たちに何ができるのか～フードパントリーを通して地域との共生を考える～
東京都立白鷺高等学校・附属中学校	Plusivity～地球は育った～
栃木県立佐野高等学校	紅茶ブランドーションに住む子供たちの放課後支援活動
福知山成美高等学校	クリーン大作戦from成美
名城大学附属高等学校	生理で止めるな

### 【Japanese】 Zoom 4

Meeting ID : 237 668 9114  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	観光地の環境問題
MIHO美学院中等教育学校	広がれ！笑顔の輪 keep smiling forever
愛媛大学附属高等学校Dチーム	自発的に取り組む廃棄物上皿支援～おにぎりアクションへの参加を促進して～
宮崎五ヶ瀬中等教育学校	外遊びを通じた他校交流の推進2017
高松市立前田小学校	わたしたちが地球のためにできること
神戸市立倉合高等学校	高齢者ドライバーの事故を減らすには？
大阪教育大学附属高等学校平野校舎	全ての人と地球にやさしいコスメを作ろう
東洋大学附属牛久高等学校	先進国と発展途上の違い
武蔵野大学附属千代田高等学校院	ディスカスマップ
福知山成美高等学校	パラエフトロフ (For The Future)
名城大学附属高等学校	ジェンダーの枠にとらわれない制服の在り方

### 【Japanese】 Zoom 5

Meeting ID : 642 245 6828  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	子ども食堂
MIHO美学院中等教育学校	HE:ARTプロジェクト
岡山学芸館高等学校	日本とオーストラリアの意識調査でわかる化粧品企画へのヒント
大阪市立泉高等学校	コミュニケーション改善
三田国際学園高等学校	LOED
精華女子高等学校	おいでよ那珂川市
大阪教育大学附属高等学校平野校舎	エシカル素材のリメイクでジェンダー教育を広めよう
東洋大学附属牛久高等学校	医療保険でこ長寿計画
福岡雙葉高校	美しいこみちを再び命を
福知山成美高等学校	CO2削減のために私達ができること～循環型社会を作るために～
名城大学附属高等学校	Vinculum～マスキングプロジェクト～

### 【Japanese】 Zoom 6

Meeting ID : 374 471 4518  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	難民
MIHO美学院中等教育学校	UMS up
岡山学芸館高等学校	～「行く」保全「広げる」保全～吉井川の
琉星国際高等学校	水辺から学ぶ
三田国際学園高等学校	持続的な難民の受け入れ方
聖光学院高等学校	海を守るウオーシャーズ
大阪教育大学附属平野高校	Seiko SDGs Food Ambassador
福岡雙葉高等学校	男女共に育児のしやすい社会づくり
福知山成美高等学校	未来の町のデザイン～独け崎市の持続可能な社会を目指して～
立命館高等学校	思考回路に革命を起こそう
	ゴーヤ
	ゴミも使えばエコとなる

### 【Japanese】 Zoom 7

Meeting ID : 608 250 6719  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	Quon
ドルトン東京学園中部	アクションガイドサイト作成
花園高校	脱プラスチック社会に向けて
皖星国際小・中・高等学校	Let's Love Elements
市川高等学校	ジェンダーフリーを目指す高校生
青翔開智中学校・高等学校	「星取組」魅力発信プロジェクト
長崎県立長崎東高等学校	発展途上国における授業の様態
東洋大学附属牛久高等学校	携字率
福岡雙葉高等学校	Sourire Palette ～「使わない」以外のアイデア～
宮崎県立宮崎大宮高等学校	洪水から家を守るパテ?
立命館守山高等学校	SGDsボランティアサークル

### 【Japanese】 Zoom 8

Meeting ID : 981 557 7753  
Passcode : FOCUS

立命館宇治高等学校	UNO
立命館宇治高等学校	PR Uji
愛媛県立三崎高等学校	再現運営～きよかのだんだん畑への挑戦～
東明館中学校・高等学校	守るべき環境～未来のために私達ができること～
皖星国際小・中・高等学校	文明と天災～助かるために：当事者意識の醸成～
市川高等学校	ハンデを持つ全ての子供たちが生きやすい社会を！
石川県立金沢泉丘高等学校	数学って楽しい！
長野日本大学高等学校	アップルタウン
栃木県立佐野高等学校	栃木県民健康化計画！
福岡雙葉高等学校	差別を知り、多様性を認め合える世の中へ
宮崎県立宮崎大宮高等学校	紙屋と海洋問題提起～レクリエーションと紙屋～

### 【English】 Zoom 9

Meeting ID : 932 4685 4882  
Passcode : FOCUS

Ritsumeikan uji high school	LAONIN:project aims to solve poverty problem in Laos through the coffee business
Ritsumeikan uji high school	Build Rainbow Bridge over children in Laos
Ritsumeikan uji high school	Tierhome:Let's try to save dogs and cats that are hurt by people as much as possible!
Ritsumeikan high school	Food Rescue Project
Okayama Joto high school	Environmental damage due to over packaging
Saitama Prefectural Wako International high school	GOOD HEALTH AND WELL-BEING by Wakoku Team B
Saitama Prefectural Wako International high school	Everyone let's be full!
PREAH SISOWATH (NEW GENERATION SCHOOL)	HOME ASSISTANT
Philippine Science High School Caraga Region Campus	Panahusa: The Essential 21st Century Strategic Action Plan for Fostering Civically-Engaged Individuals in Promoting Diversity and Inclusion in STEM Fields
Leyte Normal University	Breathe Room

### 【English】 Zoom 10

Meeting ID : 950 1799 1363  
Passcode : FOCUS

Ritsumeikan uji high school	Pla_earth:Let's save our Biwako from plastics
Ritsumeikan uji high school	PANVUS MICOLittle flash-To give brighter future for victims of human trafficking
Hokkaido Sapporo Intercultural and Technological high school	Let's be ECO-FRIENDLY from school～Environmental problems in educational sites～
Saitama Prefectural Wako International high school	Let's drink clean water ! !
Saitama Prefectural Wako International high school	Providing quality education to everyone
Ritsumeikan high school	Smile with food
(NGS) Preah Sisowath Highschool	Face Recognition/Face Detection
Liger Leadership Academy	Protecting Endangered Species Cooperation
Philippine Science High School-Caraga Region Campus	In Defense of the Land: A Sustainable Program for Indigenous Peoples' Resilience

これらの中から、モデルとなる発表5件が選ばれ、全体で共有されました。揉みなおされたプロジェクトは半年の間に実行され、1月開催のAfter FOCUSでその成果が共有されることとなります。

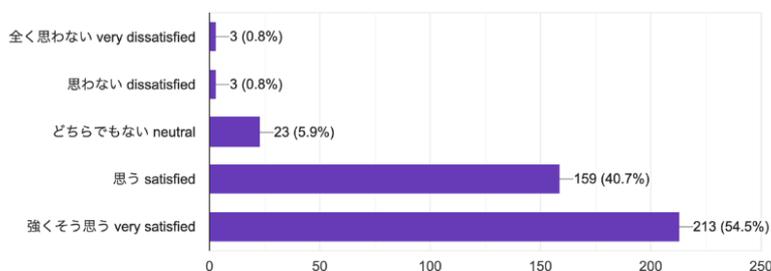
## Model presentations

- 1 立命館宇治中学校 104  
LGBTQ問題 Rainbow Supporter
- 2 Wako International High School 80  
GOOD HEALTH AND WELL-BEING
- 3 東京都立南多摩中等教育学校 51  
えこふれんどりー
- 4 栃木県立佐野高等学校 59  
幼児教育の改善による男女差別の撤廃
- 5 Liger Leadership Academy 108  
Protecting Endangered Species Cooperation

### 参加者の感想

当サミットにご参加いただき、有意義な時間を過ごすことができましたでしょうか。Were you satisfied with this summit?

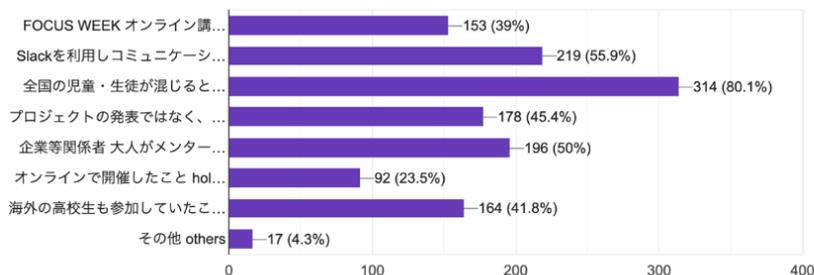
391 件の回答



95%の参加者が参加して有意義であったと回答

このサミットにおいて、良かった点は何ですか。(複数回答有) What were (if any) the good points in this summit? Please select all applicable answer.

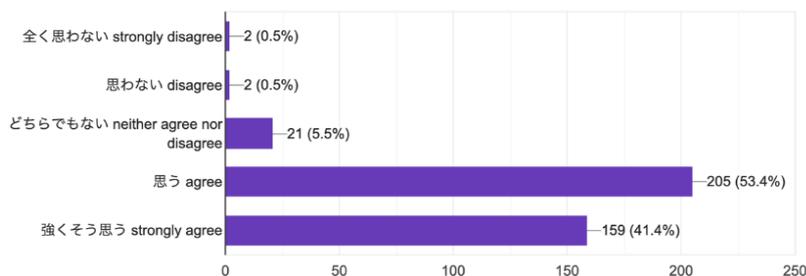
392 件の回答



8割の参加者が、コンセプトの混ざることの魅力を感じている

生徒たちは当サミットを通して成長していると思えますか? Do you think the students grew through this summit?

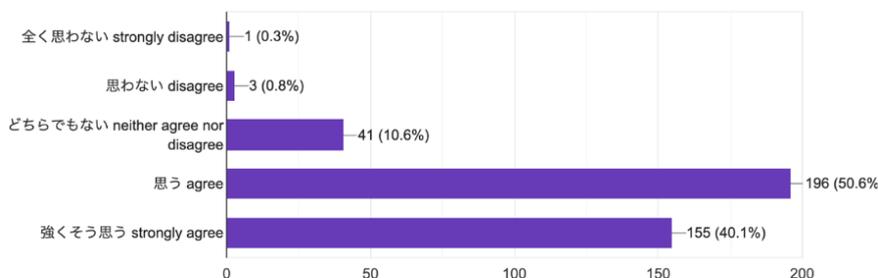
384 件の回答



95%の生徒が自分の成長を実感

学校で行なっているプロジェクトについて、より良い影響がありましたか？ Do you think the students' presentation made a positive impact on each other?

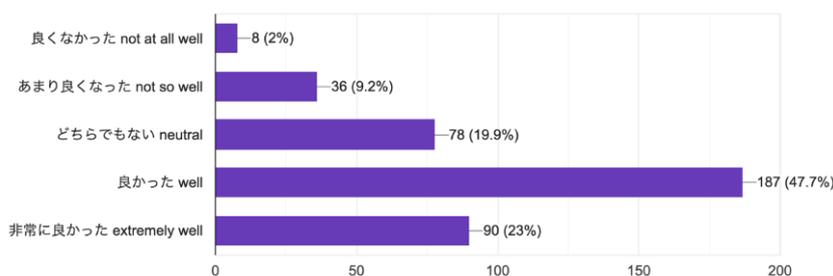
387 件の回答



9 割の生徒がプロジェクトへの好影響を実感

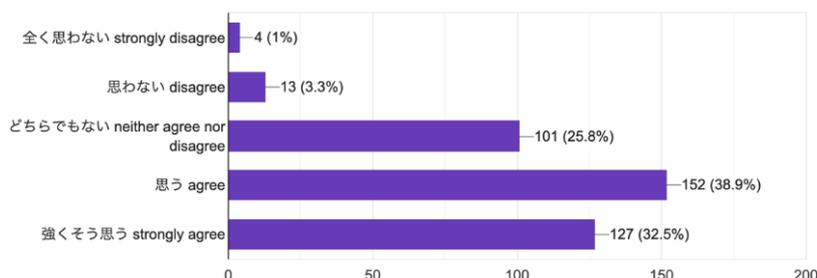
今年度はオンラインの開催となりましたが、どのように感じられましたか？ How did you feel about holding this event online?

392 件の回答



来年開催した場合、ご参加頂けますか？ If we have this summit next year as well, would you like to join?

391 件の回答



## 参加者感想抜粋

- ・ 楽しかったです
- ・ 運営お疲れ様でした！ なによりこの数集めてやりきれるのがすごいと思っています！
- ・ とても楽しい時間を過ごすことができました。
- ・ 思った以上にプロジェクトの規模が大きくて素晴らしい活動をしているのだなと感銘を受けました
- ・ I think that it would be best to have more English discussions
- ・ thank you for giving me a wonderful opportunity to participate in this event
- ・ とても楽しかったです！
- ・ “自分たちにはない意見が開けた。
- ・ 全国に人脈が広がった
- ・ 自分たちのプロジェクトに応用できそうだ。”
- ・ 勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 有意義な時間を過ごせました！ありがとうございました。
- ・ とても楽しかったです
- ・ 本当にお疲れ様でした。運営などのご尽力に感謝します。
- ・ 代表に選ばれて緊張しましたが、嬉しかったです！ありがとうございました！

- ・ やっぱオンラインではなく、実際にいきかかったです！
- ・ 貴重な経験をありがとうございました！
- ・ リーダーの負担をどうにか減らしてあげたいですね、
- ・ 普段かかわることのない全国の高校生と関わってよかった
- ・ オンラインということもあり、グループメンバーと zoom の日時を一回一回調整するのが大変でした
- ・ いい機会になったと感じています。
- ・ すごく楽しかったです！！少しだけ思ったのが、かなりリーダー任せな感じがしました。初めて FOCUS に参加するリーダーは戸惑ったと思います。もう少しサポートがあると嬉しいです。
- ・ 全体でやるときの zoom のカメラと音声のオンオフの仕方が分からなかった
- ・ とても楽しい時間を過ごせました。
- ・ いろんな人のいろんな視点の意見が聞けて楽しかったです。自分では思い付かないような意見もたくさん聞けて勉強になりました。
- ・ 今後のプロジェクトについて聞けて楽しかったです。中学生や高校生の意見を聞けることができ嬉しかったです。
- ・ コロナ禍で海外に行けない中、オンラインだとしても海外の人と交流できたことは嬉しかったです。
- ・ “他校の方々もみな、優しく、楽しく交流することができました！
- ・ 他校と話し合えたことでプロジェクトに大切なことを学ぶことができました。自分は今回は自分のプロジェクトとは離れて、自分に興味のある別分野のプロジェクトに参加しましたが、そこでも今のプロジェクトに繋がることも学べました。
- ・ この三週間、とても有意義な時間を過ごすことができ、大変楽しかったです。ありがとうございました！
- ・ つかれたあ、ここがスタートなんで頑張ります。
- ・ Overall, this was a great experience. All of the people involved did great. I am looking forward to next year's event.
- ・ 最後の FOCUS 楽しかったです！！！！！！
- ・ It would have been nice if there were more activities or seminars for the oversea students
- ・ “初めての参加ということもありとても緊張していましたが、リーダー研修から今日の本番まで多くの学びがあり、自分に生かすことができたと思います。
- ・ 最終発表に向けて今回頂いた意見を参考に頑張っていきたいです！”
- ・ The role duty of the mentors were unconcreted and students were not get used to work with us to get the best out of their teamwork and support from each other.
- ・ 楽しかったですありがとうございました。
- ・ 発表の際、もう少し大人の方からのアドバイスが欲しいと思いました q
- ・ 最初はすごく緊張しましたし、リーダーなのに頼りない自分に苛立っていましたが、メンバーのみんなもメンターさんもいい方ばかりで最高の 3 週間になりました (๑)
- ・ 全国の中高校生と交流することができ、本当にいい経験でした。ありがとうございました。
- ・ 満足のいく発表ができたので特でないです
- ・ お疲れ様でした
- ・ 来年はメンターとして FOCUS に参加できたらいいなと思っています
- ・ メンターさんがチームに参加してくれなかったっていうのと、オンラインなのでやっぱり参加しない人が出てきて、大変だったりしました。
- ・ “今年もありがとうございました。
- ・ 運営チームの皆さんの思い、それから執念がなければ、ここまで来れなかったと思います。
- ・ たくさんさんのサポートがあり、実現できている場所だと思いますので、この場所をこれからも大切にしていきたいです。”
- ・ 初参加で楽しさと不安が入り混じっていましたが、終わった後は達成感と生徒の皆さんが精一杯発表できた安心感でいっぱいです。運営の皆様、大変な中全体をまとめていただき、ありがとうございました。
- ・ とても有意義な時間を過ごすことができました
- ・ みんなで色々考えたり、他のグループの発表を聞いたりして、それぞれのグループで全然違う内容だったのでとても面白かったです。
- ・ とても充実した日々を過ごせてとても感謝です！！
- ・ いろいろな人とかかわる中で自分の成長を感じました。自分たちのプロジェクトをより一層グレードアップしていきたいと思えます。
- ・ “初めての経験で戸惑うことや大変なことも多かったです、私の考え方を大きく変えるものが多かったです！
- ・ とても楽しかったです！ありがとうございました！”
- ・ メンターとして参加させていただきました。担当グループのメンバと予定が合わず、事前サポートが十分にできませんでした。次回は打合せの希望時間（私は夜しか対応できないが、学生は逆に夜の対応が難しかった）も考慮してマッチングしたら良いのではないかと。
- ・ Focus に参加できて環境について考えるきっかけとなりました、ありがとうございました！
- ・ 本当に良い時間を過ごすことができました！
- ・ 運営の皆様のおかげです！本当にお疲れ様でした！！
- ・ 昨年よりもパワーアップしての実施、素晴らしかったです。ありがとうございました。
- ・ 全国の人達と関わってすごくよかった！
- ・ メンター制度が機能していない（去年もメンターさんと顔を合わせることはありませんでした）仕組みがわかっていない人が多いので、動画で説明するようにするなどやり方を変えた方が良い（去年もわかってない人が多かったです）”
- ・ コロナの中オンライン開催でしたが、色んな人と関わり色んな人の知識を得ることができて、
- ・ 本当に素晴らしい機会をありがとうございました！とても有意義な時間でした！”
- ・ 初めての参加でしたがとても有意義で楽しい時間を過ごせました。ほかのプロジェクトに携わる生徒ともコミュニティができてとても嬉しく思います。来年も開催があればぜひ参加したいです。
- ・ 全国の知らない人たちとこうして関わって、仲良くなれて本当に意味のある時間になりました。チームのみんなの意見に毎度圧倒されており、私も頑張ろうと強く思いました。とても貴重な体験をありがとうございました！！
- ・ とても有意義でした！運営の方も丁寧で僕が分からないことにも迅速に対応してくれてほんとに助かった面があります。自分自身学べたことはわかりませんが、ここでの経験は必ず良い物になったと思います！
- ・ 違う背景をもったメンバとたくさん意見交流ができたのが本当によかった。
- ・ 普段なら絶対に会うことがないような県外のさまざまな高校生と話すことができたので、オンラインの気軽さは良いなと思った。
- ・ 他校の人と交流できてすごく楽しかったです。ワークショップは楽しくて最高でした。ありがとうございました。
- ・ 運営で参加してみて、zoom で運営することの難しさを知ることができた。次に活かそう。
- ・ オフライン開催を楽しみにしていた部分はありますがオンラインにはオンラインの良さがあり、それがしっかりと出ていたと思います。
- ・ There are a lot of environment distractions because this is an online meeting, but I'm glad we are able to make it

- until the finale
- あまりメンターとしての役割を果たせず不甲斐なく思います。そのような状況の中でもプロジェクトを進めた生徒さんたちの姿勢は素晴らしいと感じました。オンラインでやりとりをする難しさを感じましたが、来年また再挑戦させていただければと存じます
- slack が少し使いにくかったです。伝えていただいた情報と、こちらの認識の齟齬が少しありました
- いろいろな学年、場所の人と関わってプロジェクトを進められて楽しかったです。
- 初めての FOCUS でとても緊張していましたが、本当にたくさんの刺激を受けて、成長できたと思います。他校の生徒ともコミュニケーションがとれたし、参加してよかったと思います。
- 素晴らしい学びの機会をありがとうございました。運営の皆様、心より感謝致します。
- とても貴重な機会をありがとうございました！afterFOCUS も頑張ります。
- 開催していただき感謝しています。貴重な機会をありがとうございました。
- たくさんの方の意見をこの活動で聞けたり、新しい価値観が芽生えたと思います。この活動で、成長できた部分も少なからずあると思うし、今日の発表でも、素晴らしい発表を聞いて、刺激も受けました。今後の活動や、生活にも活かしていきたいと思いました。
- この2日間たくさんの方の話を聞いて勉強になりました
- お疲れさまでした。ありがとうございました。Slack 上での議論等、まだまだ課題は多いとは思いますが、前回に続いて、オンラインでの一定のノウハウはできてきたと思います。ただ、やはり、みんなで集まって対面のできるのも魅力がありますね、今後、どうしていくか、それが一番の課題かと思えます。
- すごく楽しかったです。色んな人と出会えて繋がれて良かったです。運営などをはじめとする先生や皆様本当にありがとうございました。
- slack とメールで生徒に連絡しましたが、一部の生徒の返信はなかなか来ません。
- 海外の人も混ざることになり、不安になったり緊張したりしてしまいました。
- 運営をしてくれた方、裏で沢山支えてくださった先生方、本当にありがとうございました！お疲れさまでした。
- FOCUS を通して、失敗を恐れず自分で一歩踏み出す勇気を持つようになりました。今後もプロジェクトと自分自身、ともに磨きをかけてまいります！
- この Focus を行ったからこそ関わることのできない人と関わることでもでき、慣れない英語でのミーティングなどで少しずつ進めて行ったりして徐々に英語力が伸びたりとても楽しく有意義に過ごすことが出来ました
- 最終発表のアンケート欄にあった二週間の成長という項目は必要なかったと思います。最初のプレゼン聞いていないので成長は他グループの人にはわからないと思います。
- 運営の方々、お疲れ様でした！普段だったら関わることのできなかった多くの人と関わって楽しかったです。またオンラインより対面でするともっと楽しかったらいいなと思います。来年こそは対面で行われることを祈っております。今回は本当にありがとうございました。
- “素晴らしい体験となったので、自分がとても成長した気がします。
- このような機会をつくっていただきありがとうございました。”
- 今回参加出来て本当に良かったです！ありがとうございました！
- とても貴重な経験がすることができました。楽しかったです！また来年も参加しようと思います！
- “1メンターに2グループの発表が割り当てられましたが、グループ間の Zoom の移動がストレスであり、しっかりと生徒の発表を聞くことができませんでした。特に、私がメンタリングしたチームの発表時間が1枠分しかズレておらず、微妙な進行時間のズレで結局重複してしまって1つのチームの発表しか聞けませんでした。
- メンタリングしているチームの発表時間は大きくズラして欲しいです。”
- グループ内でうまくコミュニケーションとれず、リーダーがやらなければいけないことについて把握ができていなかったため、初めてミーティングを行うのが本番直前になってしまったり、メンターの方にミーティングに参加していただけなかったのは残念だった。
- 初めて他校の生徒と触れ合うイベントに参加して本当に緊張してあまり上手く物事を運べないこともあったのでメンバーにもより詳細な情報が欲しかった。しかし、初めて参加したイベントが focus で良かったと思いました！ありがとうございました。
- オンラインの是非に関しては、対面の方が自分は良いとは思いましたが、運営の皆様や、参加したチーム・メンター様などのお力によってオンラインでも非常に素晴らしいものだったと思いい、「とても良かった」と「あまり良くなかった」にチェックを入れました
- とても有意義な時間を過ごさせていただきました
- 様々な企業様のお話を聞いて、自分の将来を考える良い機会になりました。
- ありがとうございました。
- オンラインであったので参加できた。チャット欄を利用して、もっと視覚的に流れや発表者の明示があるとわかりやすく、助かった。
- とても楽しく活動でき、本当にいい経験となりました。初めての参加で、様々なわからないこともあり、混乱してはいたのですが、運営の方々をはじめ、いろんな方の支えがあって、ここまで FOCUS メンバーとして頑張ることができました。
- 外国語チームで参加し、他の国の方、日本国内でも全然違うところに住んでいる方とお話をしたり、同じプロジェクトを遂行したりできて、とても学びが深まったと思います。来年も、ぜひ参加できるといいなと思っています。ありがとうございました。”
- 本年度は多くの規制がある中、オンラインでこの規模のイベントが開催できたのは、一重に開催校の皆様方の努力のお陰だと思います。大変有意義な時間を生徒も過ごすことができました。生徒も、人とコンタクトを取る難しさ、ミーティングを設定したり、連携を取る難しさなど、多くを学んだと思います。有難うございました。
- I really love this event but for me it hard to communicate with some people so the work is not going smoothly but that was fun by gaining more experience trough this event. ;D
- フィードバックなどたくさんして自分の意見を伝えられるようになったし、意見交流も違う県の人とできて、とても良い経験になった！
- スラックでの連絡が大変だった。
- ズームはとても難しかったけれど、立字治の生徒さんたちがリーダー合宿でたくさんお話を振ってくれたり和ませてくれてとても楽しかったです！
- メンターの方や、メンバーが協力してくれて離れているけれど同じ意志で動いている感覚がすごくありました。全国にお友達できてとても楽しいし、嬉しいです！本当にたくさんの方のサポートを学べました。ありがとうございました。”
- 昨年度も参加させていただいたのですが、校内での反響が大きく、昨年度より参加人数が増えました。運営された学校の先生方、生徒の皆様、本当にありがとうございました。皆様のおかげで、生徒が性別や学年、国籍を超えて混じって創ることができています。
- チャットをうまく利用することで、オンラインならではの盛り上がりを感じられ良かったです！講演が非常におもしろかったです！！！！
- 運営の方々も本当にありがとうございました
- 英語の翻訳も分かりやすくてありがたかったです”
- 最初はオンラインということで連絡を取りあつたりすることに苦戦したところもありますが、その中でもミーティングをしたり工夫して最後プレゼンを成功させられたので良い経験ができたなと思います！
- コロナ禍で無理だったのは承知ですが、メンバーと実際に会えたかったです。

- ・ 様々な方と交流ができたので有意義な時間となりました。ありがとうございました。
- ・ とても濃い2週間だったとおもいます。ありがとうございました。
- ・ FOCUS week の講演の内容や本番のおおきのプロジェクトを聞くことができ、本当に自分の良い経験になったと思います、ありがとうございました
- ・ 一つのプロジェクトを他校の子たちや、社会人の方のご協力も得て共に創り上げていくという実践的なプログラムで参加した全員の成長が素晴らしいものになると感じました！
- ・ メンバーと連絡が取れない時の対応が、少し杜撰だと感じました。
- ・ リーダー合宿、FOCUSWeek、Slack 運営から2日間の FOCUS 当日に至るまで、心躍る毎日を過ごさせて頂きました。真にありがとうございました。
- ・ AfterFOCUSで、再び自分が参加したプロジェクトに出会えることが楽しみです。
- ・ また、FOCUSWeekを通して、普段高校生の方で接することの少ない起業家やビジネス関係の方のお話をたくさん伺う事ができ、大変刺激になりました。今回のプロジェクトに関わらず、寮生活や学校生活の中で自分がぶつかる課題とつながるお話がたくさんされ、はっとさせられました。
- ・ ありがとうございました！”
- ・ 本番までの準備にばらつきがあり、本番直前に動き始めたグループは数時間でプレゼンを仕上げなければいけない状況になっていた。短時間のオンラインミーティングではあまり議論が深まらないと感じた。
- ・ 楽しかったです。普段関わることのない学校の生徒や、国を越えての交流でも貴重な時間を過ごせました。意見を言い合ったり、アドバイスをもらったり、メンターの方には社会に出ている人からの意見がとてもありがたく、感謝しています。チームのみんなが同じ熱量を持って真面目に取り組んでくれてとても嬉しかったです。ここで終わりではなく、この後も交流し続けたいと思いました。また、私は日本語の方で参加しましたが、スラックの DM などで、海外の子から話しかけられて、それぞれのプロジェクトについて話してみたりなど、他言語を使うことで学ぶことも多く、考え方も違ってきて面白いと感じました。今回の FOCUS に参加して良かったなと思えました。メンターさんや、それぞれの高校の先生に感謝です。ありがとうございました。
- ・ はじめてのことばかりで戸惑うこともあったが、海外の高校生と本格的にプログラムに取り組めたので、良かったです！
- ・ 初めてだったので、どの程度、生徒の自主性に任せておくべきか迷いながらでした。やはりリーダー合宿直後にグループミーティングをスタートさせないとなかなか深められないまま当日を迎えてしまいました。私自身、後悔がたくさん残ってしまった経験となりましたが、私自身は「うまくいかなかった経験」として次回に活かしていけたらと思います。
- ・ “普段関わることのできない他校の生徒と交流が持てて、一緒にプロジェクトのブラッシュアップに貢献できてよかったです！
- ・ 他校の生徒のプロジェクトのブラッシュアップにつながるだけではなく、これで学んだことを自分の学校のプロジェクトに持ち帰って自分の学校のプロジェクトもブラッシュアップできる点が FOCUS の魅力だと感じました。来年は大学生なので参加できるかどうか分からないですが、参加できたらまた参加したいです！また、全国の同年代、私より若い子たちにこんなに意識が高い子たちがいるんだ〜！とすごく驚きました。ありがとうございました！
- ・ 本番当日の発表が自分たちの学校の仲間ではなかったのを直前まで知らなくて、準備していたので少し残念だった。あらかじめわかりやすく伝えておいてほしかった。
- ・ しかし、他校のプロジェクトにかかわれるのはとても楽しかった。
- ・ この FOCUS に参加できたこと、これはコロナで自由に活動することができない私の高校時代の数少ない大きなイベントとなりました。このような機会を設けてくださり、有難うございました。世界について考える良い機会になりました。はやくオンラインでの開催ではなく、直接いろいろな人々と交流できることを願っています。
- ・ It was a great event ever.
- ・ Thank you for allowing me to take part in this event ! Hoping to join more programs such as this and to interact more with all of you !
- ・ “初めてメンターとして参加しました。十分なお力にはなれなかったと思いますが、後半は自分の役割やできることもイメージ出来てきたので、次回も可能であれば参加させてもらいたと思います。
- ・ 学生の皆様からは本当に多くの学びがありました。様々な取り組みの中で、仮説を立て、検証し、取り組みにつなげる。自分たちがこれからの社会を作っていくということや、有難うございました。世界について考える良い機会になりました。はやくオンラインでの開催ではなく、直接いろいろな人々と交流できることを願っています。ぜひ交流できる機会を作りたいです。どうぞよろしくお願いいたします。”
- ・ この FOCUS を通じて色々な人とコミュニケーションが取れてすごく楽しかったです。FOCUS week ではほんとにたくさんのことを学ぶことが出来ました！
- ・ 本当にありがとうございました
- ・ メンターとして初めて参加しました。8/1 までに準備時間をもっとほしかったというのが率直な感想です。生徒たちのコミュニケーションが活発になり、いいものが見えてきた入り口ぐらいで発表日を迎えてしまった印象があり、あと少し時間があればもっと面白い議論が生まれていた気がしました。
- ・ 自分は初めて会う人と話したり、コミュニケーションを取ることが苦手なのですが、オンラインであったからこそいつもよりは心が軽く話し合うことができました。楽しかったです。ありがとうございました！！
- ・ 一日目のそれぞれのグループで作る時間いらないと思います。午後それぞれ話し合えばいいのではないかなと思いました。
- ・ 講演会等で貴重なお話を聞くことができこれからの未来に必要なることを色々学ばせて頂きました。ありがとうございました
- ・ こんな機会は滅多になくて、このプロジェクトに参加しているんなことをやっていく中で本当にこれから為になるようなことをいっぱい学べました。今まで自分に力がついていなかった部分とかも力がつきました。めっちゃ楽しかったし有意義な期間でした。次は対面でしたいです。
- ・ 運営の皆さん、お疲れ様でした。本当にありがとうございました！
- ・ 今回初めてのフォーカスで、最初はとても緊張していて、本当に自分の意見が言えるかどうか不安だったのですが、実際に話してみても、あまり緊張せずに意見を言うことができたのでとてもうれしかったです。これからはこの経験を生かして、自分自身の成長に生かしていきたいと思いました。
- ・ “私はこのような課外活動に参加するのは初めてで、楽しみ、よりはかは緊張や不安などの感情の方が強かった。でも、その中でもメンバーの支えや、FOCUS WEEK の講演などを通して、積極的に1歩を踏み出せるようになった。
- ・ まだこれからプロジェクトを進めて行けるか不安は残るが、頑張りたい。
- ・ ドタキャンで他校の生徒が2日目を欠席し、きちんと準備ができなかった班があり、気の毒に思いました。学校担当者など連絡取れる状態にすべきではないかと思いました。
- ・ スラックの使い方に慣れておらず、どこにどの情報があるのか拾いづらく、困っている生徒もいました。Google クラブルームならばミートでグループ同士話し合いなどもやりやすいかと思いました。
- ・ “色々な地域や国の人達と同じ問題について考え、その解決策を議論していくことが楽しかったです！非常に良い経験となりました。
- ・ コロナが終息したらまた来年も出たみたいですよ！
- ・ 皆さんありがとうございました！
- ・ 純粋に楽しみながらも様々な人とかかわりの中で学びを得ることができました。
- ・ 残念ながらオンラインでの開催となってしまいましたが、その中でもやれる最大限をやることでよかったです！

- ・改善点としては、生徒のみだと例えば zoom ミーティングの時間が制限などがありましたー
- ・あとは、やっぱりオンラインだと意見が出にくかったりするなど感じました
- ・チャットの活用やフィードバックの積極的に参加性まだまだ課題かなと思いました！
- ・改めて、ありがとうございました！
- ・初めは正直難しいと思いあまりやる気がおきなかったのが本音ですが、メンバーやリーダーの方、事務局の方々のおかげで実りの多い FOCUS にすることができました！
- ・参加できて良かったです！
- ・ありがとうございました！！
- ・ただ1つのプロジェクトについて話し合うだけでなく、その準備段階として様々な経験を持つ大人の方々の話を聞いたりそれを元に考えたりしてインスピレーションを受けることができたことが自分にとって本当にプラスになりました。また最終発表では色々なプロジェクトの発表を聞くことができ、「うわこんなことまで考えているんだ」とか「そう言う視点から考えることもできるのか」とか全てのプロジェクトから刺激を受けることが出来たので冬の after focus や来年の focus にもきっと繋げることができると思います。とても有意義な時間を過ごせて良かったです。
- ・発表をする予定時刻の10分後にメンバーから欠席連絡が来たので、とても混乱しました。難しいとは思いますが、あらかじめ出席者、欠席者の確認はしてほしいです。
- ・slack が使いやすい良かった
- ・貴重な体験をありがとうございました。
- ・“メンターの方と zoom が出来てとても有意義な時間を過ごせました。
- ・海外のリアルな問題はこのような場でしか知ることが出来ないで(メンターの方が海外の方でした。)とても貴重な体験となりました！自分たちのプロジェクトに参考になっただけでなく、自分のこれからの人生に役に立つヒントを貰うことが出来ました。非常に良い時間を過ごせました。この度は Focus を開いて頂きありがとうございました！
- ・このような状況ですので仕方ないですが、オフラインがいいですね。また、2週間のブラッシュアップ期間はもう少しプロジェクトを前に進めるように上手く活用できると思います。ほぼプロジェクトを考える期間が2日間になっているため。
- ・私は中学生なのに参加できてうれしかったです。高校生の考えることとかも友達と話してることと少し違ったので新しい発見やなと思いました。すでに実践しているプロジェクトチームが数多くあったのですごい行動力だなと思いました。今後も FOCUS で得た考え方など忘れずに生活していきたいです。ありがとうございました。
- ・学校という枠を飛び越えて全く知らない人とやることに最初は不安を覚えたけれど、実際にやってみるとすごい面白くて色んなアイデア柳生議論を活発にできて、やって良かったと思います。この交流で地域とか年齢とか関係なく、人と人は通じ合えたり同じことに取り組みたりできるし、どこの誰だって上下はなく同じ段差にたっているということを感じました。また、現在活躍されている人のお話を聞けてすごくインスパイアされました。ありがとうございました！
- ・“素晴らしい会の企画・運営、大変お疲れさまでした！！
- ・会の目的・場の目的・それぞれの役割とタスクなどが不明瞭だった部分があり、そこに難しさを感じました。それは説明が不足していたのではなく、リアルで行う場合とオンラインで行う場合の差が生じた部分、コミュニケーション上の課題でもあると思われます。学校間でも意識の差もあり、先生方の手を離れたところで起きていることも多く、統率を取ることは不可能だと思いますが、FOCUS Week が始まるまでの部分のコミュニケーションで、オンラインであっても、より役割とタスクを明確化し、個々に目標設定させる場が持てるように思いました。
- ・1月が楽しみです。みなさま、大変お疲れさまでした。
- ・学び多く、実り豊かな3週間をありがとうございました！！普段触れることのできない、異なった価値観の方とディスカッションを重ね、ともに作っていく中で、混ざって変わるという感覚を肌で感じる事ができました。これから続く学びを楽しんでまいります。本当にありがとうございました！
- ・“最初参加できると聞いた時は、正直迷いました、周りはきっと高校生だらけだし、自分には語彙力もないし、いいアイデアを出せるかも分からないし、辞めようかなと思ったのですが、今思えば参加してほんとに良かったと思っています！
- ・逆に周りが高校生という事で自分には思いつかなかった考え方を知ったり、少し大人目線で物事を見たりしていて、ほんとに学ぶ事が沢山ありました。
- ・また、メンターの方や講演をしてくださった方は、沢山の経験を積んでいる方達なので、一つ一つの話にとても重みを感じ、説得力のある話し方などに感動しました！
- ・自分も今回学んだ事を忘れずに将来社会に貢献していきたいです！
- ・たくさんの方々の意見の交流を通して自分では気づくことのできなかった視点や、他の皆さんから見習いたいと思えるようないい影響を頂けたので、すごくいい時間だったと思います。このような機会に出会えたこと、恵まれたことにとっても感謝しています。今回のフォーカスでいただいた様々なアドバイスを率直に受け止め、精進したいと思います。ありがとうございました。
- ・今回参加させていただいたことで、他校での取組や生徒たちの視点への理解が深まりました。やはり、オンラインでの取組は目も脳も疲れるので、1時間に1度程度の休憩があるといいですね。運営の皆様、本当にお世話になりました。
- ・楽しく、自分にもいい刺激となりました！ありがとうございました
- ・今回は、初めての参加し、今回は2人でプレゼンすることになってしまいましたが、無事に終わることができたので良かったです。1つ改善して欲しいという点として自分のプロジェクトに参加するのか、招待されたプロジェクトに参加するのか、分からなくなってしまうので、そこについての説明が欲しいです。ありがとうございました。
- ・“ありがとうございました。参加できて本当に良かったです。この FOCUS の期間でたくさんの学びと発見を吸収することができました。
- ・とても有意義で最高の時間でした。ブラッシュアップしたプロジェクト一生懸命取り組んでいきます。
- ・“今回初めて参加させていただきましたが、あまりの楽しさに終始時間を忘れて過ごさせていただきました。1つ改善を上げたいのですが、発表のとき2つのチームに入っていて結局1つに参加できませんでした。できればぜひ、発表についての情報提供を早めにしていただけると嬉しかったです。
- ・ありがとうございました!!
- ・またいつかお会いできる日を楽しみにしています。
- ・“Please allow for more liberty of working online via alternative platforms.
- ・ Google PowerPoint and google docs allow for editing and feedback by all members at the same time which will allow for greater efficiency.
- ・ Line chat and use of a phone - will also be a better option. Schools such as MIHO 美学院 and a few others need to allow for more working liberty and also need to trust the students much more.
- ・ This is a pandemic and the present students don't live in the environment of our past.
- ・ Just because smart phone use seems like they will abuse it - doesn't mean they really would do so. As long as work is done - I don't think there's any issues involved here. ”
- ・ 私は自分の学校で1月に開催されるフォーラムに向けての参考として参加させて頂きました。どのグループも様々な観点を考慮し、

- 課題に対する解決策に独自性があり素敵でした。自分自身の発表に向けてのモチベーションとなりました。ありがとうございます！
- I think the communication in Slack is a little bit confused. Because there are too many channels. I suggest that who will present in English should have a separate Slack room and all the information should be in English. And the same thing goes for Japanese room. Furthermore, people who not involved in the channel should not be invited to the channel because it will distract them, and cause more confusion.
  - 昨年度状況も分からず参加させて頂き感謝致しました。今年度の参加は、さらに意欲的に取り組ませて頂き参加児童・生徒並びにその周辺の非参加者にも大きなまなびの機会を頂きました。ONLINE ならではの不自由や歯痒さを現代っらしいセンスで乗り越えていく姿に教職員一同感激しておりました。寮生ならではの不自由さ(自由時間を取りにくい等)を許容して下さりありがとうございます。
  - これからそれぞれの学校で問題解決に向けての本格的な活動が始まりますが、共に多くの仲間たちが挑戦していることを感じながらの力強いプロジェクトとなりますね。
  - 事務局のみなさま、御校の生徒さんの遅しさに感謝と拍手を送りたいと存じます。”
  - 今回九州の幹事校として、本校の生徒たちが今回リーダーズキャンプの運営や FOCUS WEEK の司会、今回の2日間の大会参加と司会進行も含めて参加できたこと、それら全てが素晴らしい成果でした。このような機会をいただいたこと、そして全ての莫大な準備と運営を担われた立命館宇治高等学校に心より感謝しつつ、引き続き何卒よろしく願いいたします。
  - FOCUS WEEK に参加させていただきありがとうございました。
  - 感想としては、学生とのコミュニケーションがもっと取れたら嬉しかったです。学生たちもメンターのみなが時間を合わせるのが難しかったかもしれません。また、メンターや学生に対して、いつ何をすればいいのか指導がもっと有れば良いではないかと思いました。素晴らしい経験ありがとうございました。
  - ほんとにたくさん学びがありました！！ FOCUSWEEK での講演も普段触れることのない話題もたくさんあって良い刺激を受けました！昨日今日に留まらず、これからも FOCUS で学んだことを生かして頑張ります！！また、来年も参加したいです！！来年こそはオフラインでできることを祈ってます！！
  - いろんな生徒が混ざることがとても身になりましたが、グループによって新メンバーのやる気の差や意見の量や積極性がいろいろあって、吸収するものは人によって全然違うと思います。
  - スケジュール等、基本的な点についても全体像が参加者にいきわたっていませんでした。リーダーには参加前にプロジェクトの最終的なゴールを明確にするというワークを行うべきだと思います。プロジェクト中、ゴールが定まるまでに時間がかかってしまい、具体的なアイデアを練るところがありません、できあいの資料を使ってしまっていて学びがどこまであったのか傍目に分かりませんでした。チームが瓦解するのは、仮にそれが中高生の責任でそうなるのであれば良い経験ですが、運営上の問題であれば、生徒にとつての学びなどなく、ただの悪い経験です。その点を、失敗も学びと片付けるのは、無責任に聞こえました。
  - 初めての参加で緊張することも不安なところもたくさんありました。でも、この経験からいま世界にある様々なもんだいについて必死に向き合い解決に向かって考えることができたことが、何よりもうれしかったことです！
  - 貴重な機会を長期間にわたって提供して下さり本当にありがとうございました。とても楽しかったです。会ったことのない新鮮なメンバーとメンターとでプロジェクトに磨きをかけていくことはとても充実した時間となりました。また、このような機会があればぜひ参加したいです。
  - とても楽しい時間を過ごすことができました。
  - “2年続けてオブザーバーとして拝聴させていただきました。生徒さんの社会問題に対する問題定義も更にグレードアップしてとても良かったです。
  - また、オンライン形式での開催もとても良かったです。あえて言えば時差の関係で難しい事承知でお願いがあるのですが、アジアだけでなく欧米やオセアニア、アフリカなどの生徒さんにも参加していただいて、アジア人には分からない問題についてのお話も聞いてみたいです。
  - 長期間運営に関わった立命館高校の生徒さん、先生方お疲れ様でした。
  - ありがとうございました。”
  - 運営の皆さん、お疲れ様でした。本当にありがとうございました！
  - FOCUS で具体的に何をやるのかわからない子が結構いたので、FOCUS が始まる前に、もっと細かいスケジュールを出した方がいいと思った。
  - 状況にもよるが、対面でできればその方がいいと感じた。あと、スラックも使うならあらかじめ慣れた状態から始めた方がコミュニケーションが取りやすそうだと思う。
  - リーダーの負担をどうにか減らしてあげたいですね
  - 大人数をまとめ上げるのも多方面の調整もさそが大変だったかと思います。お疲れ様でした。実際に学生と話ができて私自身も非常に勉強になりました。
  - 今後ということでは、どの程度関与時間が必要なのか、学生との連携について検討頂けると幸いです。可能ならばキックオフで5分でもチームメンバーとメンターで顔合わせする時間を設けてほしいと思いました。
  - 今回このような機会を頂きありがとうございました。今後ともよろしくおねがいします。
  - とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。また来年も開催するのであれば、参加してみたいです。
  - 大変なことあったけど最終的にはいいものに仕上がって、自分自身も成長できたと思います！
  - メンターさんがチームに参加してくれなかったっていうのと、オンラインなのでやっぱり参加しない人が出てきて、大変だったりしました。
  - 生徒それぞれに温度差がありますが、可能な範囲でうまく協働作業ができたと思います。
  - 他校の人とやるということが少し難しかったけれど、ネットワークが広がるしいい経験ができたと思う。
  - まず何より、Focus に参加出来て楽しかったです。ただ、話し合いの時間が少ない印象でした。アウトプットよりインプットの方が多かった。話し合いの時間をもっと設定して下さるとありがたかったです。
  - フィードバックなどたくさんして自分の意見を伝えられるようになったし、意見交流も違う県の人とできて、とても良い経験になった！
  - That was a good event! Looking forward to more FOCUS events in the future!
  - オンライン開催だからだと思うのですが、あまりにもグダグダと感じました。
  - メンターの方の役割の明確化をしてほしかったです
  - “有意義な機会を頂きありがとうございました。また、お疲れ様でした。
  - メンターとして感じたことを一点。オンラインであったことが大きいのかと思いますが、生徒達に(あるいは各校の教員から?) 指示が伝わり切っておらず当日までの間に取り組むことについての理解がばらついていたように見受けられました。複数の学校が参加している為の非常に難しい部分かと思いますが、当日までの時間の使い方が勿体ないものになってしまっていたように感じました。この点に改善の余地があるのではないのでしょうか。”
  - やっぱオンラインではなく、実際にいきかったです！
  - コロナ禍で海外に行けない中、オンラインだとしても海外の人と交流できたことは嬉しかったです。
  - “運営お疲れ様でした。運営の先生方の負荷が大変大きかったのではと傍から見ていて思いました。立命館宇治さんは大学の母体も

持っていらっしやると思いますので、例えば運営のところに大学生のスタッフさんを何十人くらい入れるなどしてスラックでのメンターとのコミュニケーションなど事務作業などは切り分けてもよかったのではと思いました。

- ・ご参加できてよかったです。お疲れ様でした。”
- ・“対面で参加できれば、肌で感じる事ができてなお良かったのかもしれませんが、このような状況下でも開催していただけて、本当にありがたく思っております。今回の活動を通して、うまくいったこと・思い通りにいかなかったことすべて含めて、生徒たちの大きな経験となりました。1月のAFTER FOCUSには、今回の経験を活かした活動報告ができるはずです。
- ・運営の皆様、本当にお疲れ様でした。”
- ・4回目もオンラインとなりましたが、運営本当にありがとうございました。参加させていただき感謝しております。本校の生徒たちも他校との交流に緊張しながらも多くのことを学ばせて頂きました。非常に良い学びの機会だと思います。
- 本校のリーダーが、先行事例として、SR サミットのプロジェクトとして成功した活動があればそういったことも知りたいと言っております。優秀プレゼンにだけでなく今後、そういった実際に社会に貢献しているプロジェクトも知る機会があればと思います。after focusに向けて頑張ります！
- ・よろしくお願ひ致します！”
- ・関わったプロジェクトが活発的にコミュニケーションをとっていなかったため、あまり理解できぬまま終わってしまいました。
- ・オンラインとはいえ、週1MTGの時間調整が直前で生徒さんたちのスケジュールと合わせるのが大変でした。
- ・もう少し早めにMTG日のスケジュールが立てられたらよかった。”
- ・主催者各位、本当にお疲れさまでした！
- ・“初めての人へのサポートがもう少し欲しかった。
- ・応募してるのに参加していないメンバーは何がしたかったのかよくわからなかった。人が連絡なしで来なかったのでプレゼンを作るのがとても大変だった。”
- ・The role duty of the mentors were inconcrete and students were not get used to work with us to get the best out of their teamwork and support from each other.
- ・事前のプロジェクトごとに生徒さん同士が見合わせる状況で時間がどんどん経過している点ももったいなく感じた。結果的に両プロジェクト共に1度Zoomで協議しただけとなってしまったことが残念だった。皆さん非常に積極的であるが故にこの点が改善されればより良い発表につながると感じました。あとはスケジュールが急に決まったり、変更になったりと生徒さんの感覚が社会人にはちょっと調整が難しく、もう少し余裕を持ってスケジュールできるように、少なくとも初回だけはある程度事前にスケジュールを取り決めるなどの配慮があっても良いと感じました。基本的には非常に良い経験になりましたし、たくさん良い刺激をいただきました。有難うございました！
- ・全体のスケジュール観を、生徒・メンターともうまく捉えられていなかったように思う。発表もかなりタイトな準備で、「やらされ」「宿題」のような感じでバタバタ取り組んでいたのがもったいないように拝見していました。良い意味で自律的にミーティングをするような空気で進んでいる中で、発表だけ急に重たくタイトなので、そのギャップでメッセージがブレてしまうように思いました。とはいえ、様々準備運営、本当にお疲れさまでした。
- ・やっぱオンラインではなく、実際にいきかけたです！
- ・オンラインは少し大変だったから次は対面でできたらいいなあと思いました。自分が見たことのない世界に触れられて貴重な体験ができました。ありがとうございました！！
- ・本当に良い時間を過ごすことができました！
- ・運営の皆様のおかげです！本当にお疲れ様でした！！
- ・今年はオンライン開催ということもあり機会音痴の私には少し難しいところもありました。
- ・しかしこれはコロナの影響であり私達にはどうすることも出来ないことです。来年はみんなが集まって出来ることを強く願うばかりです。
- ・難しいところもありましたがとても有意義な時間でした。本当にありがとうございました。”
- ・ドタキャンで他校の生徒が2日目を欠席し、きちんと準備ができなかった班があり、気の毒に思いました。学校担当者など連絡取れる状態にすべきではないかと思いました。
- ・スラックの使い方に慣れておらず、どこにどの情報があるのか拾いづらく、困っている生徒もおりました。Google クラブルームならばミートでグループ同士話し合いなどもやりやすいかと思いました。”
- ・部活で時間がなくほとんど会議に参加できずに終わってしまったので、チームのみんなに迷惑をかけてしまい申し訳なかったし、残念でしたが、他校の子とコミュニケーションをとることができる機会があったことで色々なアイデアがたくさんあってとても勉強になりました。
- ・各チームに進捗のバラつきがありました。全体のスケジュール感やリーダーの役割等が明確にされていたのか疑問に感じます。学生が我々メンターにもっとヘルプを出しやすい環境を整えられるとさらに良かったようにも感じます。例えば、事前のオンライン顔合わせなど。
- ・運営お疲れさまでした。オンラインに挑戦したからこそできたことが増え。同時に課題もでてきて、それは進化の賜物ですね。プログラムの進化を祈っています。
- ・“今年度も素晴らしい学びの機会を与えてくださってありがとうございました。水口先生をはじめ、事務局の先生方や生徒さんたちに深く感謝しております。
- ・参加させて頂いた児童・生徒達はハードなスケジュールを目一杯楽しんでいました。他校の子たちと出会うことが難しい今だからこそ有り難みが増しました。オンラインだからこそその自由と可能性への挑戦が出来たと思います。
- ・閉塞感のある時代に、これだけの質量のプロジェクトを運営され、新しいことに挑戦して下さったことに心から感謝すると共に、本校だけではなく各校のプロジェクトのさらなる発展を楽しみにしております。”
- ・世界が広がりました。
- ・やっぱオンラインではなく、実際にいきかけたです！

## AFTER FOCUS を開催

7月末に第4回全国高校生SRサミット FOCUS を実施しましたが、8月より各校でプロジェクトを実行に移し、PDCA サイクルを2回は回すことを課題にしていました。その後、実際にみんなで揉み上げたプロジェクトがどうなったのか、各プロジェクトの進捗や、気づき、学びを共有し、再度集い絆を再構築する場として AFTER FOCUS を実施しました。また、進捗発表をするだけでなく、新しい教育テクノロジーに触れる機会も持ち、オンラインで実践的な教育の挑戦もしました。以下詳細を記録します。

対象：FOCUS 2021 に参加した生徒およびメンターなど

今年度の挑戦：

- ① プロジェクトリーダーのみ参加のリーダー合宿を全国3会場で行う。  
各会場において、連携企業および連携校に運営を協力いただく。
- ② 小学生・中学生・高校生の参加
- ③ リーダー合宿後～FOCUS 当日までを FOCUS WEEK とし、オンラインで著名な方々からの講演会を開催
- ④ WWL 後も発展を自走できる仕組み作り
- ⑤ 新たなオンライン媒体への挑戦 **Miro**, **oVic** を使用しました。

日程及び場所：2022年1月22日(土) 13:00～16:30

オンライン Zoom にて立命館宇治中学校・高等学校より接続

実施内容：

- ① オンラインワークショップ (Gather town 使用予定)
- ② FOCUS2021 参加校より成果発表 (発表7分+質疑応答3分)

### Final Presentations 最終プレゼン発表

- ・Zoomを6回線用意しています。各Zoomに約10プロジェクト入り、進捗発表を行ってください。
- ・プレゼン時間は7分です。その後に3分の質疑応答を行います。
- ・多くのプレゼンを行いますので、スムーズな運営に心がけてください。
- ・1年間お疲れ様でした。皆さんの良い発表になることを願っています。

**Zoom 1**  
10 projects

**Meeting ID :**  
**937 9647 2374**

**Passcode : FOCUS**

立命館宇治高等学校	UNO
立命館宇治高等学校	観光地の環境問題
立命館宇治高等学校	<b>Quon</b>
MIHO美学院中等教育学校	広がれ！笑顔の輪 keep smiling forever
東明館中学校・高等学校	守るべき環境～未来のために私達ができること～
市川高等学校	ジェンダーフリーを目指す高校生子ども食堂みんなで応援プロジェクト
大妻中野高等学校	栃木県民健康化計画！
栃木県立佐野高等学校	Sourire Palette ～"使わない"以外のアイデア～
福岡雙葉高等学校	ゴーヤ
福知山成美高等学校	

## Zoom 2

10 projects

Meeting ID :  
945 0830 4292

Passcode : FOCUS

- |               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 立命館宇治高等学校     | LAONIN                              |
| 立命館宇治高等学校     | 子ども食堂                               |
| 立命館宇治高等学校     | PR Uji                              |
| MIHO英学院中等教育学校 | HE:ARTプロジェクト                        |
| 宮崎五ヶ瀬中等教育学校   | 外遊びを通じた他校交流の推進2017                  |
| 松商学園高等学校      | 本当の自分であるために～学校生活から考えるジェンダー問題～       |
| 大妻中野中学校・高等学校  | 私たちに何ができるのか～フードパントリーを通して地域との共生を考える～ |
| 栃木県立佐野高等学校    | 足利市における商店街の活性化によるまちづくりの研究           |
| 福岡雙葉高等学校      | 差別を知り、多様性を認め合える世の中へ                 |
| 名城大学附属高等学校    | 生涯で止めるな                             |

## Zoom 3

8 projects

Meeting ID :  
955 4800 6789

Passcode : FOCUS

- |            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 立命館宇治高等学校  | Pla_earth                           |
| 立命館宇治高等学校  | 児童労働 ラオス                            |
| 福知山成美高等学校  | パートナーシップで心の国境を無くそう～今を生きる私たちと未来のために～ |
| 愛媛県立三崎高等学校 | 再現迷宮～きよかのだんだん畑への挑戦～                 |
| 大阪府立東高等学校  | コミュニケーション改革                         |
| 神戸市立蒼台高等学校 | 高齢者ドライバーの事故を減らすには?                  |
| 長野日本大学高等学校 | アップルタウン                             |
| 栃木県立佐野高等学校 | 幼児教育の改善による男女差別の撤廃                   |

## Zoom 4

9 projects

Meeting ID :  
919 4418 3589

Passcode : FOCUS

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| 立命館宇治高等学校     | Wakka                              |
| 立命館宇治高等学校     | 人身売買                               |
| 愛媛大学附属高等学校    | 自発的に取り組む発展途上国支援～おにぎりアクションへの参加を通して～ |
| 暁星国際小・中・高等学校  | Let's Love Elements                |
| 聖光学院高等学校      | Seiko SDGs Food Ambassador         |
| 東京都立南多摩中等教育学校 | 小学生の学習支援×高校生                       |
| 栃木県立佐野高等学校    | 紅茶プランテーションに住む子供たちの放課後支援活動          |
| 福知山成美高等学校     | クリーン大作戦from成美                      |
| 名城大学附属高等学校    | Vinculum～マスキングプロジェクト～              |

## Zoom 5

9 projects

Meeting ID :  
981 8954 3341

Passcode : FOCUS

- |                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| 立命館宇治高等学校      | フードロス                         |
| 立命館宇治高等学校      | Tierhome動物虐待                  |
| 岡山学芸館高等学校      | 日本とオーストラリアの意識調査でわかる化粧品企画へのヒント |
| 暁星国際小・中・高等学校   | 文明と天災～助かるために：当事者意識の醸成～        |
| 青翔明智中学校・高等学校   | 『誰取る!』魅力発信プロジェクト              |
| 東京都立南多摩中等教育学校  | えこふれんどりー                      |
| 武蔵野大学附属千代田高等学院 | ディスカスマップ                      |
| 福知山成美高等学校      | パラエフトゥロ (For The Future)      |
| 立命館高等学校        | フードレスキュープロジェクト                |

## Zoom 6

9 projects

Meeting ID :  
977 7188 2764

Passcode : FOCUS

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 立命館宇治高等学校    | ホームレス                          |
| 立命館宇治高等学校    | 難民                             |
| 岡山学芸館高等学校    | ～「行く」保全「広げる」保全～吉井川の水辺から学ぶ      |
| 高松市立前田小学校    | わたしたちが地球のためにできること              |
| 大妻中野高等学校     | 環境のために小さくても確実なアクションを!          |
| 東洋大学附属牛久高等学校 | 未来の町のデザイン～龍ヶ崎市の持続可能な社会を目指して～   |
| 福岡雙葉高等学校     | 美しいごみたちに再び命を                   |
| 福知山成美高等学校    | CO2削減のために私達ができること～循環型社会を作るために～ |
| 立命館高等学校      | ゴミも使いえエコとなる                    |



## oVoice 活用の様子



## Global Youth Fair (GYF) “SURVIVE!” を開催

Global Youth Fair は、昨年度は全国高校生 SR サミット FOCUS と同時開催としましたが、本年度の第2回は、単独で、“SURVIVE!”と銘打って2022年2月13日(日)、19日(土)、20日(日)の3日間オンラインにて開催しました。本イベントでは、高校生が主体となりSDGsを達成の目標期限の先2030年に目標が達成できなかった場合の世界を想定し、それ以降の世界における課題を国内外の高校生同士で議論し、バックキャストで今できることなどのアイデアの創出を目的としました。2030年以降、若者が当事者となる世界の姿をまっすぐに見つめ、その世界で生きるためのアイデアを創り出すことを目指しました。

### <GYFの目的と準備>

GYFは構想計画書において、以下のように定義していました。

AL ネットワークを基盤に新しく企画する会議。テーマに掲げる Diversity & Inclusion の集大成となる取り組みとし、最もレベルが高い会議として設定。使用言語はすべて英語。本校が過去に開催した International Student Forum や後述の開催会議のノウハウを活かしつつ、世界各国のトップレベルの高校に参加を依頼する。会期中にディスカッションやワークショップを行い、共同宣言等を出す。この国際会議では英語力・問題解決能力・異文化コミュニケーション力の全てが求められ、参加者の国際通用性をさらに高めることを期待する。これにより AL ネットワーク全体でより高いレベルのグローバルリーダーの育成を目指すと同時に真の国際協力関係を10代のうちから作ることに繋げる。

また、同時に生徒の実行委員会が主体的に進める会議としても位置付けていました。残念ながらコロナ禍において対面の実施は実現しませんでした。自分たちの手で国際会議を企画して成功させると7名の生徒が名乗りを上げました。この7名が初期メンバーとして、実行委員会の中核の役割を果たすことになり、9月ごろからどのような会議にするかの議論が始まりました。3年間のWWLの学びを経験した生徒がその集大成としてどこまでできるか真価が問われるものと、教員側も最低限のアドバイスにとどめ、生徒の自主性に任せていきました。

あらかじめ、教員がひな型となる計画書を作っていましたが、それにも頼ることなく、自分たちの力で進めたいと、生徒たちは議論を深めていきました。しかし、当初は議論に要する時間管理が甘く、議論する内容についても当事者について不十分な知識のまま進められていく傾向がありました。そこで、当事者に近い関係者の意見を聴取させるなどの手助けを行いました。時間的な余裕がなくなってくるに従い、教員のアドバイスを受け止めながら、どのようなテーマにするかが固まっていきました。

11月ごろには、会議の概略が固まり、実際に当日の国際会議を運営するメンバーも、生徒たちの手によって集められました。集まった生徒たちは、IMコース・IGコースの1年、2年で、コースや学年を超えての広がりを見せました。このころからは、毎日の

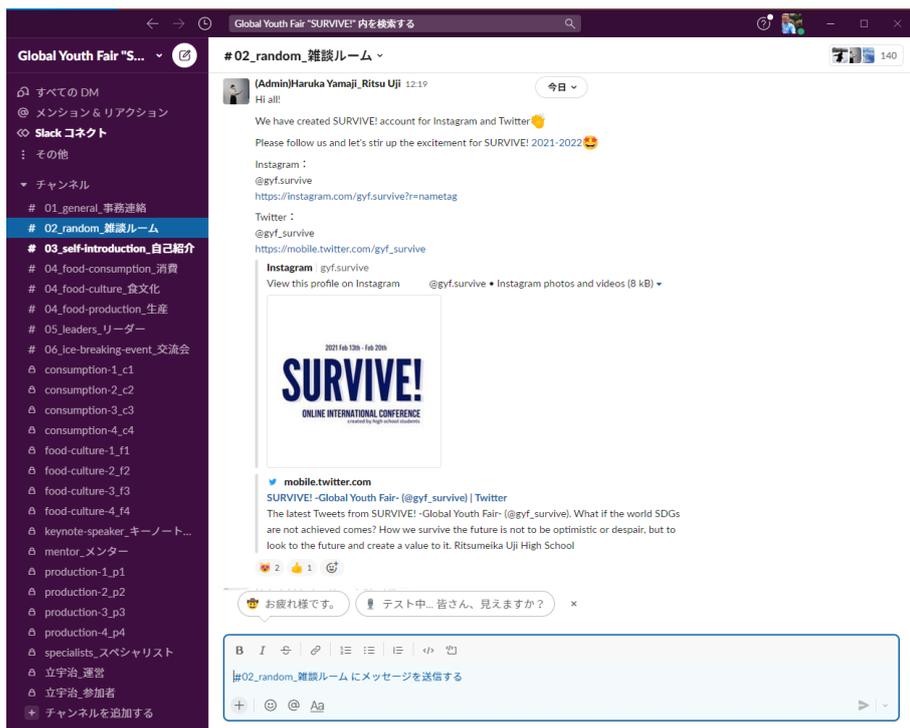
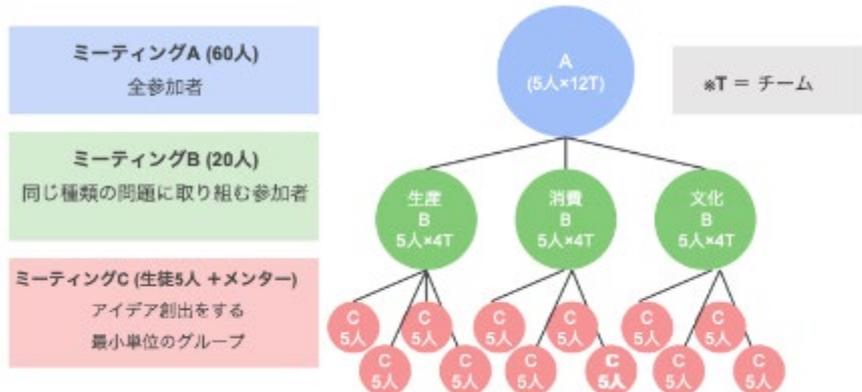
ように運営会議を開いていましたが、その会議が、作り上げていく過程で楽しかったといえます。それぞれ7名が分担し、運営部隊の後輩たちともうまくコミュニケーションをとり、進めていきました。このようにして、立案・企画・運営全てを生徒たちだけで行う形となった国際会議について、全国高校生フォーラムで発表し、文部科学大臣賞として評価を受けました。

### <会議の仕組み>

実際の会議に出席して議論をする参加者数は、60名程度とかなり絞りました。これは、初回の取り組みであることに加え、深い議論を期待するためです。

右上にあるように、ミーティングCは5名のグループで、基本的な議論は個々で行います。

ミーティングBはCが4グループ集まった単位で、Cで話し合ってきたことを共有しまとめていきます。最後に全体のAでアイデアを共有していきます。



オンラインであることを活かし、正式な日程は3日間としましたが、初日と2日目の間の1週間の間で、参加者がCの単位で、自由に議論を進めるようにしました。連絡ツールとしては、SLACKを利用し、右図にあるようにチャンネルを細かく分けて、連絡が通りやすいように、またCでの議論が進みやすいようにしました。

交流会は平日の夜に行い、自由参加としました。

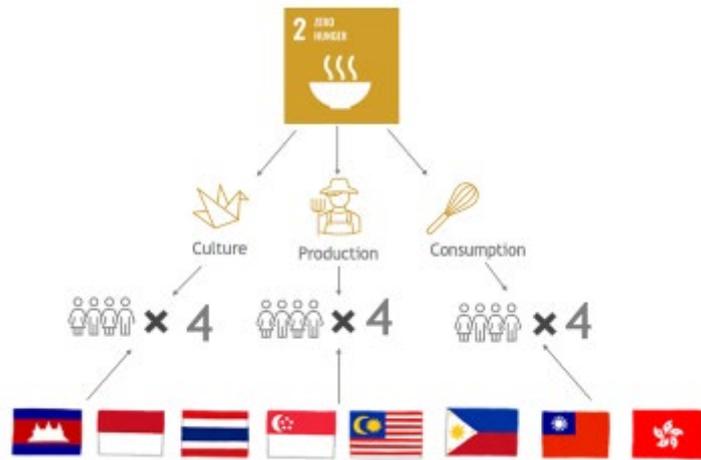
各アイデアの実現性を高めていくために、AL ネットワーク連携機関の民間企業等の皆様にもご参加頂くことで、産学協働プロジェクトとしても位置付けました。本イベン

トでは、生徒たちが地球社会の一員として考え、どのように社会貢献できるかを模索する機会となりました。

### <テーマ>

テーマは食の問題にフォーカスし、右図のように Culture, Production, Consumption の3分野に分けて議論することになりました。

事前に、参加者自身の出身国や地域の課題、もしくは興味を持っている課題についてまとめ、その解決策になることを考えておくことを求めました。



### <日 程>

- 2022年2月13日(日) 開会式
- 2022年2月14日(月)-18日(金) グループCでブラッシュアップ(スラックとズームで)
- 2022年2月15日(火) 交流会
- 2022年2月19日(土) イベント2日目
- 2022年2月20日(日) イベント最終日

【Day1/2月13日(日)】スケジュール表内表記；必須参加 ◎ 任意参加 ○

時間	内容	Meeting types	Students	Mentors	Specialists	Observers
10:00	開会式	A				
10:05	開会挨拶(先生)		◎	○		
10:10	開会挨拶(生徒)		◎	○		
10:15	SURVIVE! の説明 / チーム発表		◎	○		
10:40	基調講演		◎	○		
11:40	質疑応答		◎			
11:50	当日の流れ確認		◎	○		
12:00	休憩					
13:00	チームアイスブレイク	C	◎	○		
13:30	リーダーズ会議 (これから先はリーダーのみ参加)	leaders	leaders			
13:40	自己紹介	leaders	leaders			
13:50	マインドセットを運営から発表/宣言 形態の説明	leaders	leaders			
14:00	ブレイクアウトで議論	leaders	leaders			
14:20	全体で発表	leaders	leaders			
14:30	休憩					
14:40	リーダーの役割説明	leaders	leaders			
15:00	リーダーのタスク説明	leaders	leaders			
15:30	終了					

【Day2/2月19日(土)】

時間	内容	Meeting types	Students	Mentors	Specialists	Observers
10:00	当日の流れ確認	A	◎	◎		
10:10	アイデアの話し合い	C	◎	◎		
12:00	休憩					
13:00	アイデア発表	B	◎	◎	◎	
14:00	リフレクション	C	◎	◎	◎	
15:00	宣言の話し合い	C	◎			
15:30	宣言の話し合い (リーダーのみ)	B	leaders			
16:00	終了					

【Day3/2月20日(日)】

時間	内容	Meeting types	Students	Mentors	Specialists	Observers
10:00	当日の流れ確認	A	◎	◎		
10:10	最終確認	C	◎	◎		
10:30	最終アイデア発表	B	◎	◎	◎	○
12:00	休憩					
13:00	宣言発表	A	◎	○	○	○
13:30	宣言採択	A	◎	○	○	○
14:00	閉会式	A	◎	○	○	○
14:20	PR time	A	○	○	○	○
15:00	終了					

<協力者・参加者>

【メンター】計 13 名 C の議論を手助けする役割 所属のみ記載

- ・ Production 1 立命館宇治教員
- ・ Production 2 卒業生(関西学院大学)
- ・ Production 3 Microsoft
- ・ Production 4 very50
- ・ Consumption 1 立命館宇治教員
- ・ Consumption 2 非公開
- ・ Consumption 3 PwC コンサルティング
- ・ Consumption 4 JAICA
- ・ Food Culture 1 卒業生(上智大学)・立命館宇治教員
- ・ Food Culture 2 Good Job Creation
- ・ Food Culture 3 卒業生(早稲田大学)
- ・ Food Culture 4 キャリアリンク

【スペシャリスト】計 5 名 食の専門家の立場からアドバイスする役割

- ・生産 江面陽子&あきと(えづらファーム):
- ・消費 レスレクション綾穂&Alwin(bananaq):
- ・食文化 ブライデン陽子(ガストロラボ):

【キーノートスピーカー】計 1 名 課題解決の手法についてのアドバイス

- ・芦田かな(High Tech High)

参加校一覧

【国内】13 校 32 名

- ・立命館宇治高等学校 8 名 (アジア架け橋プロジェクトの留学生(パキスタン)を含む)
- ・立命館慶祥高等学校 2 名
- ・立命館高等学校 2 名
- ・金沢大学附属高等学校 2 名
- ・長崎県立長崎東高等学校 2 名
- ・聖光学院高等学校 1 名
- ・大妻中野高等学校 2 名
- ・宮崎県立宮崎大宮高等学校 2 名
- ・青翔開智高等学校 2 名
- ・福岡雙葉高等学校 2 名
- ・愛媛大学附属高等学校 2 名
- ・愛媛県立三崎高等学校 2 名
- ・東明館高等学校 2 名

【海外】6 か国・地域 7 校 (15 校) 27 名

- ・Sansin High School of Commerce and Home Economic (台湾) 2 名
- ・SMK (P) Sri Aman (マレーシア) 3 名
- ・St. Clare's Girls' School (香港) 4 名
- ・NGS Preah Sisowath High School (カンボジア) 3 名
- ・Philippine Science High School System (フィリピン) 9 名  
9 キャンパス(9 校)から 1 名ずつの参加
- ・Leyte Normal University, Integrated Laboratory School (フィリピン) 3 名
- ・Nanyang Girl's High School (シンガポール) 3 名

運営部隊の役割

【マネージャー】立命館宇治高校 計 12 名

⇒ 各グループに 1 名ずつ配置・議論が正しく進んでいるかをマネジメント

【運営メンバー】立命館宇治高校 計 24 名

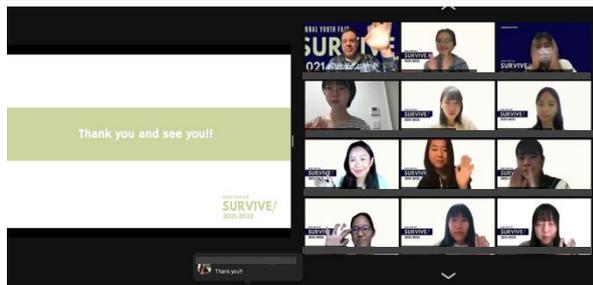
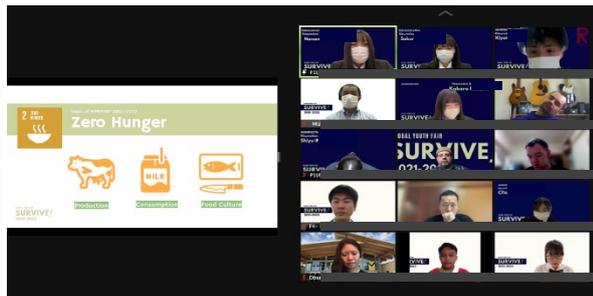
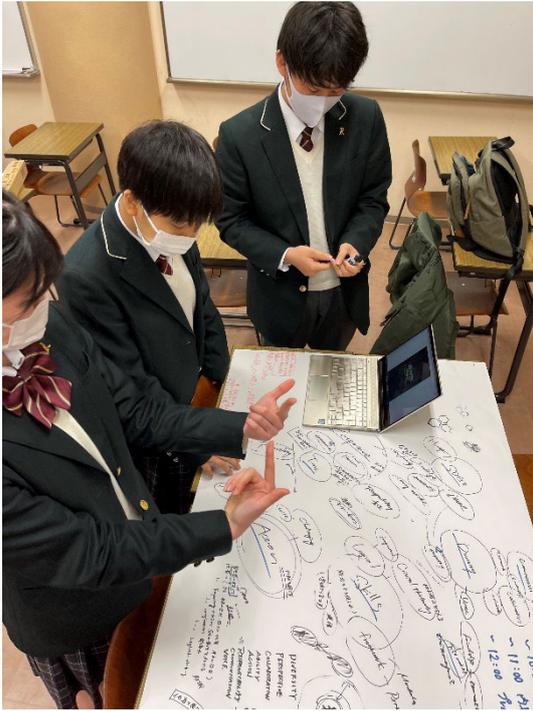
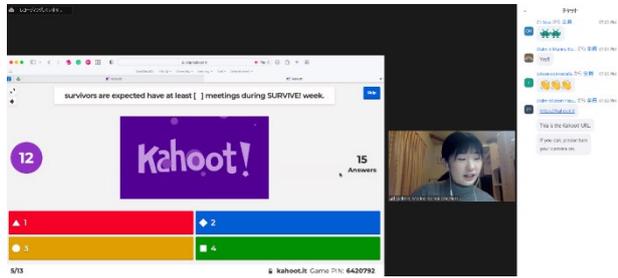
⇒ 3 年生 6 名 マネージャー12 名 その他(司会, Tech 担当等)6 名

<当日の様子>

海外からの参加者を含め、趣旨をしっかりと理解し、相手の意見を尊重しながら議論することができました。リーダー役をやってくれた生徒、メンターの皆さんも主体的に動いてくれました。実行委員も役割分担をしっかりと把握して動くことができました

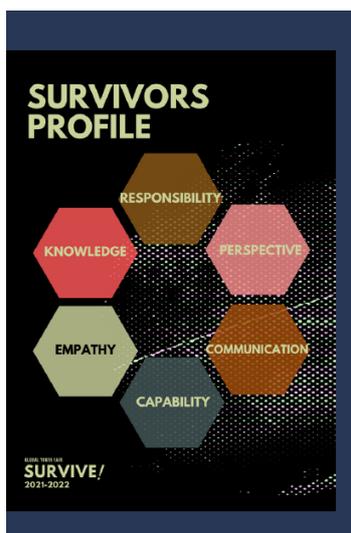
た。コアの7名も、当日の役割に従い、宣言を取りまとめるチームはそれに専念するなど、裏方に徹して会を運営していきました。

右上 交流会の様子  
右下 当日の会場の様子  
左下 宣言づくりのまとめ議論  
会議進行と並行して舞台裏で行われました。



実行委員の生徒たちは、準備が進むにつて、どんどんと議論が楽しくなり、障害を乗り越えて作り上げていく過程を楽しむことができたといます。また、会の運営方法や様々なアプリケーションの適切な使用は、今まで参加したオンライン研修や国際会議での経験が確実に生きているとも語ってくれました。生徒たちの成長にかかわる記録は、教材ビデオとしても制作していますので、ぜひご視聴ください。

< 宣言 > 行動指針として宣言が作られました。



## SURVIVORS PROFILE

### 6 things we gained in SURVIVE!

#### COMMUNICATION

THE ABILITY TO DISCUSS, COLLABORATE, AND SHARE THAT ALLOWS FOR BRINGING TOGETHER A DIVERSE GROUP OF PEOPLE

#### PERSPECTIVE

EXPANDED POINTS OF VIEW BY COMMUNICATING WITH PEOPLE OF DIFFERENT BACKGROUNDS AND TO BE CURIOUS

#### KNOWLEDGE

AN UNDERSTANDING OF GLOBAL ISSUES, GAINING NEW PERSPECTIVES WHICH INCREASE AN AWARENESS OF THE ISSUE

#### EMPATHY

BRINGING OURSELVES TO THE SITUATION OF THE PROBLEM HAPPENING AND MAKE IT TO OUR PERSONAL PROBLEM.

#### RESPONSIBILITY

BEING ACCOUNTABLE FOR THE PRESENT AND FUTURE SOCIETY

#### CAPABILITY

NEW SKILLS GAINED, SUCH AS CREATING NEW IDEAS AND WAYS THINKING ACT TOWARDS GLOBAL ISSUES.

< 参加証 (Certificate) >



### <参加者：感想>

- Amazing experience! I learned a lot of techniques and made new friends:)
- I had a really great time! It was very well-organized and enjoyable. Thank you!
- It's amazing to see the event being organised so smoothly and I had a lot of fun .
- At first i thought the event will be hard because of the pandemic but all in all it was a great experience!
- I loved the event, I enjoyed working with the team and I think we'll all make the world a better place.
- It was a lot of fun. Thank you very much!
- I got an impression of this event as it was really organized.
- It was very comfortable in the sense that the management committee was so welcoming and easy to approach. I could say that this is very much a precious learning experience. I hope to interact again with everyone in the future should our circumstances permit us.
- It is very well organized. Students from many schools are involved and the process was neat and Great experience overall, really enjoyable.
- I was astounded by my teammates' effort throughout the whole event. We got to enjoy the diversity in our culture and hold onto an accountability in team spirits.
- I learned a lot from this events, that all the students are working on the problem that we have each. I want to talk more about what we are doing at school and more general things too.
- Thank you for make such a opportunity to discuss about SDGs with many people from different countries. I had good time!!
- super enriching and fun!
- This event was well organized, and I enjoyed it very much. Thank you to all of the people who have made it possible!
- I was surprised with the quality of everything, including the management committee and other groups' presentation. I was very nervous at first, and I was still nervous before yesterday's presentation, but now I am really satisfied.
- This event was very inspiring for me. The topic was not easy, but I was able to think logically and give a presentation in front of many people who are not from Japan but also from abroad by using mandala charts. I learned about the problems that the world is facing and I realized that my English skills are not good enough. And it was very difficult to do group work online. I am very happy that I could participate in this event. I would like to revenge to join this event after my English skills developed.
- I could learn a lot of things from this event. I had fun communicating with many people and learning about global issues.
- It was very fun to meet and work with different people around the world. This event will be one of my most memorable experiences, as it is my first research activity. It would've been more fun if it was face to face but nonetheless it was still a fun event.
- I think that the event was very very insightful and i really learnt a lot of skills ranging for presentation skills to systematic ideation and communication.
- This event was very well-organized and focused. It was able to achieve its goal!
- It was amazing! We got to work together with different people from around the world and it was very productive
- The event was very well-organized. The mentors and specialists were incredibly helpful. I also loved meeting and working together with my groupmates who helped me learn more about cultures in other countries and problems that need to be addressed. Overall, everyone did a good job.
- It is a large-scale and fruitful event. I feel really grateful to meet survivors and thank all the admin for your hard work!
- It was great! I was able to exchange opinions and become friends with people from other countries. I also learnt a lot from our mentor about complicated problems in reality.
- I have learnt a lot from SURVIVE and I am really happy with all events of survive and I really appreciate everyone's effort in this event. THANK YOU VERY MUCH.
- I'm really impressed on how the management committee managed to pull off such a large-scale event

with schools all over the world. I really loved working with my group members and I hope to join an event similar to this. It's a shame covid is still around, I would really love to meet everyone in real life but I'm still satisfied with this event and it was neatly planned. Thank you for everything.

- It was good opportunity to know different opinions and I really realized that we all have different views. I also think discussions are the most important thing to know each other. I was inspired by our members.
- I think that the event was very well-organized and implemented well! The admins were very helpful plus the theme of the event was very insightful and relevant to current problems. It definitely gave most of us a wake up call regarding the situation with SDGs and how their achievement is important to humanity.
- It was incredibly phenomenal. The management of this event and the process was extremely smooth and spectacular! It was great meeting new people as well :)
- You prepared a lot!!! I appreciate your extra efforts.
- All people were trying hard and it was great to participate this event. I joined later than other people but everyone warmly welcomed me:) We got so many good feedback and to think about it again by using those feedbacks were a little hard but also great experience!!!! Thank you 😊
- I was very interesting to communicate with people who live in far away place from me. It is hard to communicate in English for me, but it was a wonderful opportunity to know about world. Thank you for having this event!
- I was impressed by everyone because each were thinking about these issues seriously and acting independently but cooperatively. I learned that solving the issues in the world, we have to talk and talk and talk because each of us has different feeling ,languages and culture. Thank you all
- I could learn how to work together from different backgrounds. It was so meaningful.
- It was a short but very inspiring time. I think I was able to exchange opinions with group members who had different ideas from mine and come up with very good solutions. I hope I can use this experience to think about how I can face the world's problems in the future. I would also like to become a person who can contribute to the world. It was a lot of fun. Thank you very much!
- I was able to experience something that I don' usually get to do.
- My impression of this event is really great. I expanded new perspectives throughout discussing, collaborating, and sharing ideas with my group members. It was not easy for me to complete this event but I learned a lot of things such as critical thinking skill, communicating skill, and collaborating abilities. It was a really good opportunity to think about the issues all over the world. I realized that how much we don't know about the problems that is existing right now. Thank you so much.
- This event was a great opportunity to learn other countries' problems around the world. In my group, we chose “pagpag” for topic. I haven't known about it before I took this event. Thanks to this event, I was able to discover a new thing that what I have interesting. Also, I could find things that I have to improve through this event. I want to use this experience for next time!!
- I had very fulfilling times. I was very busy this week, but it was interesting to talk with overseas students and think about problems together.
- It was amazing to think that the same students as me had planned it. Thank you very much for your hard work. Through this activity, I was able to get involved with people from other countries and solve global issues together, which was a great experience. Personally, when I saw the managers and students from other countries speaking their opinions fluently in English, I strongly felt that I want to be able to speak like them. From now on, I would like to study and interact with others to improve my English skills, and I would also like to pay more attention to issues around the world and think about what I can do to help. Thank you very much for giving me the opportunity to think like this. Thank you very much for everything!
- This event has been such a wonderful rollercoaster ride. I'm truly thankful for being a part of this experience. I have gained new skills and lessons that I would surely use in my daily life. It was great for us to actually have realizations about certain topics and also creating new perspectives to how we can solve these issues and develop a world that would provide the citizens with proper nutrition. Collaboration and communication will be skills that I would treasure from this event. Overall it was a

knowledgeable and joyous experience.

- It was a good opportunity to interact with various people. Management committee supported us a lot. I was able to learn a lot of important things. Thank you so much.
- Great Job!
- You all did well and so far i don't have any advice but to congratulate you all for making this event successful.
- I think the event was great, so I don't have anything more to add.
- Nope. Thank you for the hard work to manage this big event!!!
- No, I think that the management group did a amazing job!
- thank you guys for putting in so much effort to organise this! its very impressive 😊😊 i hope that SURVIVE becomes an event that can be passed on, and all the best in whatever you guys do! thanks for making this event so fun and possible during covid-19! hopefully we can meet each other in real life in the near future :D
- In my team, the leader was unsure of what she was supposed to do, and she seemed to be confused about scheduling meetings during survive week. Next time, it might be better to reemphasize the role of what a leader should do to make things easier and go smoother. Other than that, it was great. Thank you.
- Everything was awesome.
- It's not advice, but i think that it is so amazing that the management committee has been able to organise this event not only for the japanese students, but also for students from schools overseas, and i really admire how you guys have been able to communicate with us clearly in english throughout the event. 😊 I think the organisation of this event really helped all the participants learn so much!! thank you so much for your hard work and i hope you guys can take a good break after this event!! (^O^)
- None at the moment.
- No!:) )
- I wish we had more time to discuss after receiving feedbacks, so that we can rethink more deeply and make it a better solution.
- To be very honest, I just want to say thank you so much for this opportunity and I really believe that this event will occur again in the future.
- You guys did so well, though there were some hiccups, it's inevitable since technology is not a 100% reliable and I really loved participating in this event. Thank you all, you guys worked hard!!
- Keep up the great work! You all did amazing and made my experience very fun :)
- Perhaps you could do something about inactive members in groups? I personally haven't seen some of the members in our group since they haven't made any contact with us at all. Also, I've wanted to see other groups from food production and food culture present their ideas as well. Otherwise, everything was great! All of you managed to make this experience fun and informative for me <3
- I think we need at least one student from the host school as a member, not a mentor, per team. I think it's easier to proceed if you become a member, such as what to do now and advice. There were mentors, but they weren't in all the sessions, so it was hard because we didn't understand the form of the presentation, persona, Mandara chart, etc.
- Thank you so much for this great event. It was so good. Due to COVID, we had to do this event by online so I think it was hard for you guys but thank you for your flexible work 😊 I don't have things to say!
- I want you to inform the schedule clearly to members because two people of my team didn't come today, and join the meetings last week.
- Thank you so much for your work 😊 I wanted more work time in meeting typeC because it was difficult to find a time that's suitable for everyone except planned meeting
- nothing special for now. thank you so much for organizing this event.
- If we have more time, we could think about them deeply.
- Firstly, I would like to thank each and everyone who is a part of the management committee. You all did such an amazing job organizing this event, considering the involvement of different students from

different countries. Hopefully you all would continue to be a part of creating events like this one, and be a part in developing a world with a bright future.

<メンター：感想>

- We looked at an important issue and as a mentor I could see that the students in my group were learning about perspectives they had never thought of before.
- Promising!
- It was a great opportunity to discuss world issues and what needs to be done to solve them.
- It was very good!
- I am impressed with the hard work of the students. Thank you to all the people who ran the event. In my team, the Philippine students were leading the project, and I feel that the Japanese students could have shown a little more leadership. Also, overall, all the teams focused on issues in the Philippines, so I felt that it would have been good to have a team with Japan as a field.
- Continue to be wonderful but at lunch time remember some groups are having side meetings on Zoom so.... SHHHH!
- I am convinced that the management committee experience will be an asset for you!
- More clear communication for the roles (specialists, mentors) in the event would have made it more clear what was going on. There was some confusion about what exactly I needed to do or what the expectations were at some points.
- I mentioned before, but giving countries and personas would make it easier!

<オブザーバー：感想>

- Very organized
- It was wonderful and so empowering! I joined, however, only the last day, so it was too difficult to catch up with you!
- Very diverse, led by a very passionate and highly motivated group of students
- Thank you for hosting this event. I am honored to be part of it. So impressed with all students' creative and inspiring hard work
- I am convinced that it was an unforgettable experience for the students who participated. I would like to express my sincere gratitude to the students and teachers of Ritsumeikan Uji High School for planning and executing this project.
- I feel that it was a very valuable and wonderful opportunity.
- Invite more participants
- As you know, this is not the end. You must start from here. Congratulations!
- You all were wonderful! Great job to everyone who was involved in the management committee. I only attended Food culture's presentation session that I can't speak for all, but all the ideas that were shared were around preventions. But over all, it seemed that students had a great experience.
- Thank you! Please keep up this event forward
- It was a wonderful program that exceeded my imagination. It was also wonderfully organized by the students. Thank you very much. It was a wonderful program that exceeded my imagination. It was also wonderfully organized by the students. Thank you very much.
- I was impressed by the resourcefulness of the students on the staff! I feel that if there is a next opportunity, it would be wonderful if high school students could actually get together for discussions, even if only domestically, rather than remotely. Thank you again to Ritsumeikan Uji High School for organizing this event, and to all the high school students and mentors who came from all over the world, including our school students!